

平成30年度

渋谷区立松濤美術館年報

ANNUAL REPORT : THE SHOTO MUSEUM OF ART

第22号



目 次

I	施設概要	003
II	展観	005
	平成30年度	006
III	出版	051
IV	教育普及	054
	1. 講演会	054
	2. 美術教室	055
	3. コンサート	055
	4. ギャラリートーク	056
	5. 美術館見学会&ワークショップ	056
	6. 展覧会関連イベント	057
	7. 建築ツアー	058
V	入館状況	059
VI	日記抄	060
VII	組織	061
VIII	利用案内	062

I 施設概要

建物概要

位 置	東京都渋谷区松濤二丁目14番14号
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上2階地下2階建
敷地面積	1,034.57 m ²
建築面積	618.40 m ²
延床面積	2,027.18 m ²
階層別面積	塔屋 29.48 m ² 2階 461.20 m ² 1階 305.50 m ² 地下1階 623.95 m ² 地下2階 607.05 m ²
建築着工	昭和53(1978)年12月21日
竣 工	昭和55(1980)年5月8日
建築工事	株式会社 竹中工務店
設 計	白井晟一研究所
開 館	昭和56(1981)年10月1日

各室面積

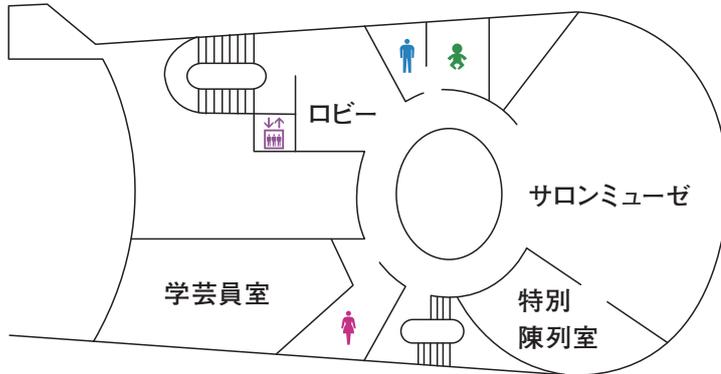
〔2階〕	特別陳列室	30.00 m ²
	サロンミュージゼ	148.00 m ²
	館長室	41.00 m ²
	学芸員室	43.50 m ²
〔1階〕	ロッカー室	11.50 m ²
	ギャラリー	35.00 m ²
	事務室	58.00 m ²
	ロビー	64.50 m ²
〔地下1階〕	陳列室	203.00 m ²
	荷解室	15.50 m ²
	格納室	28.50 m ²
	収蔵庫	78.50 m ²
	機械室	34.50 m ²
	倉庫	10.00 m ²
〔地下2階〕	ホール	121.00 m ²
	映写室	6.50 m ²
	第一制作室	37.00 m ²
	第二制作室	34.50 m ²
	講師控室	18.50 m ²
	機械室	94.00 m ²

平面図

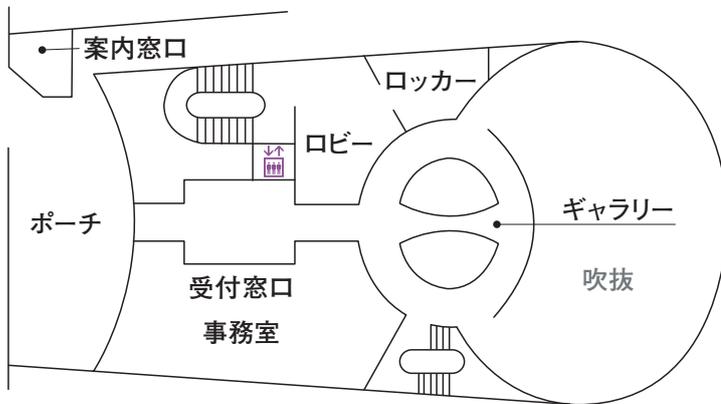
凡例



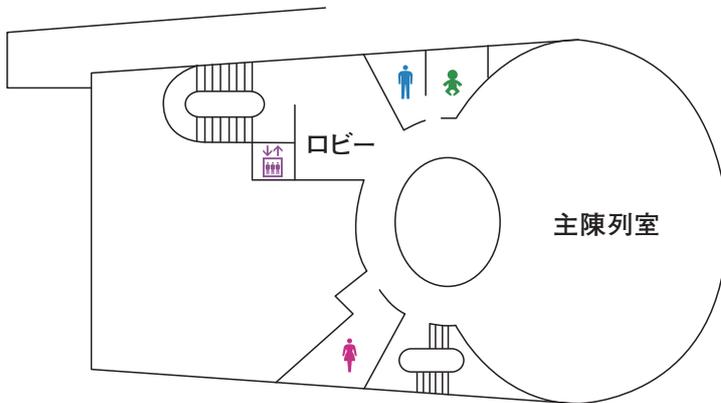
2階



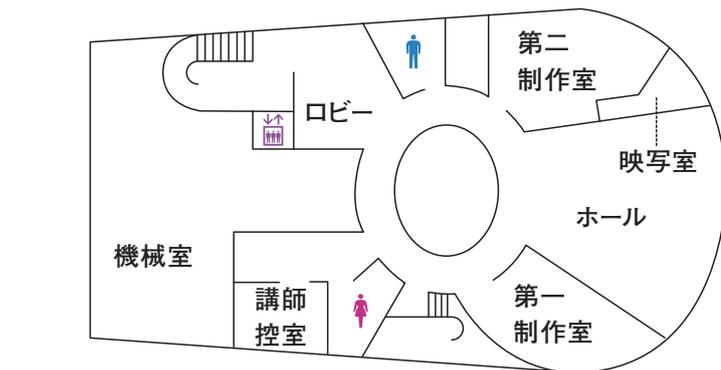
1階



地下1階



地下2階



Ⅱ 展観

平成30年度

特別展「チャペック兄弟と子どもの世界～20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト」	006
特別展「ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展」	018
特別展「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」	027
特別展「林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面」	032
特別展「終わりのむこうへ：廃墟の美術史」	038
2019 松濤美術館公募展	045
サロン展「南 薫造展」	046
サロン展「山口草四朗展」	048
第37回渋谷区小中学生絵画展	050

特別展

チャペック兄弟と子どもの世界～20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト Those Children Keep on Playing; Children's Themes in the Works of the Čapek Brothers

会期＝平成30(2018)年4月7日(土)～5月27日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

後援＝チェコ共和国大使館、スロヴァキア共和国大使館、日本国際児童図書評議会

協力＝チェコ国立文学館、スロヴァキア国立美術館、プラハ10区、カレル・チャペック記念館、GASK、チェコセンター東京

企画協力＝株式会社イデッフ

チャペック兄弟は、20世紀前半に、当時のチェコスロヴァキアで活躍した画家の兄ヨゼフと、文筆家の弟カレルの二人である。彼らは個々にも制作に励んだが、共同制作も数多く行い、ヨゼフ20歳、カレル17歳のころから共に活動をし、カレルが先に48歳で亡くなるまで二人の歩みは続いた。ヨゼフは当時、ピカソなどが提唱したキュビズムに傾倒しながら、プリミティヴアートにも関心をもち、研究を進めた。カレルは、チェコスロヴァキアにペンクラブを設立し、多くの短編や長編、エッセー、それもジャンルはSFや推理小説、園芸書など多方面にわたり手がけ、晩年には毎年ノーベル賞候補に名を連ねた。

二人とも多岐にわたるジャンルで活動したが、中でも子どもの世界を扱った作品が多いことでも知られる。ヨゼフは自身の娘の成長とともに子どもの視点を体感し、作品に生かし、一方、カレルには自身の子どもはいなかったものの、子ども向けの多くの童話を世に出した。それは、子どもの頃から多くの文字に触れることが、想像力を広げることに助けになるという考えに基づいていた。

本展は、チャペック兄弟、特に兄ヨゼフの研究者であるパヴラ・ペチンコヴァー氏の監修により、チェコの現代美術館GASKで開催された展覧会をもとに、ペチンコヴァー氏が日本の展覧会のために再構成したもので、子どもの世界を扱った作品に焦点をあてた。ヨゼフの世界初公開となる作品も含め、遺族のもとにあった貴重な作品群を中心として、第一会場はヨゼフの油彩画やパステルなど、第二会場は二人が共同で手がけた童話の挿絵や、カレルの犬や猫を撮影した写真、当時の貴重な新聞や世界各国で翻訳された図書を展示し、子どもの心を持ち続けた兄弟の生涯とメッセージを、作品を通して紹介した。出品点数359点。

会期中は、監修者による講演、チェコの60～70年代のアニメーション上映、カレルの著作にちなんだモバイルのワークショップやチェコ音楽のコンサートを行った。



出品目録

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
♪子どものモチーフ(会場:地下1階)							
1-1	J	子どもを抱く母	1910	リノカット／紙	18.0	11.9	個人蔵、ブラハ
1-2	J	輪を持つ少年	1914	インク／紙	42.0	34.0	個人蔵、ブラハ
1-3	J	少女	1914	水彩、インク／紙	60.0	43.5	個人蔵、ブラハ
1-4	J	子どもを抱く母	1914	水彩、鉛筆／紙	60.0	41.5	個人蔵、ブラハ
1-5	J	幼い少女	1914	鉛筆／紙	13.0	6.5	個人蔵、ブラハ
1-6	J	座る少年	1914	鉛筆／紙	12.5	10.5	個人蔵、ブラハ
1-7	J	ランプの下の子どもたち	1915	鉛筆／紙	4.0	3.0	個人蔵、ブラハ
1-8	J	ランプを持つ少年	1915	鉛筆／紙	8.4	5.2	個人蔵、ブラハ
1-9	J	少年と魚	1915	鉛筆／紙	5.0	4.0	個人蔵、ブラハ
1-10	J	少年の頭部(驚き)	1916	油彩／カンヴァス	35.0	28.0	個人蔵、ブラハ
1-11	J	ランプを持つ少年	1917	油彩／カンヴァス	53.5	34.0	個人蔵、ブラハ
1-12	J	貧しい子どもたち	1917-18	リノカット／紙	24.6	16.5	個人蔵、ブラハ
1-13	J	少年と魚	1918	リノカット／紙	17.7	14.4	個人蔵、ブラハ
1-14	J	ランプの下の子どもたち	1918	リノカット／紙	16.4	14.4	個人蔵、ブラハ
1-15	J	ランプを持つ少年	1918	リトグラフ／紙	25.0	17.7	個人蔵、ブラハ
1-16	J	子どもを連れた乞食	1918	油彩／カンヴァス	51.0	36.5	個人蔵、ブラハ
1-17	J	貧しい子どもたち	1918	油彩／カンヴァス	50.0	36.0	8スミチュカ財団
1-18	J	子どもを抱く母	1920	水彩、鉛筆／紙	17.5	13.0	個人蔵、ブラハ
1-19	J	子どもを抱く母	1924	鉛筆／紙	4.3	3.2	個人蔵、ブラハ
1-20	J	子どもを抱く母	1924	鉛筆／紙	10.0	4.5	個人蔵、ブラハ
1-21	J	子どもを抱く母	1924	鉛筆／紙	5.8	3.3	個人蔵、ブラハ
1-22	J	子どもを抱く母	1924	鉛筆／紙	5.8	3.5	個人蔵、ブラハ
1-23	J	子どもを抱く母	1924	鉛筆／紙	7.0	5.8	個人蔵、ブラハ
1-24	J	子どもを抱く母	1924	鉛筆／紙	8.0	3.5	個人蔵、ブラハ
1-25	J	トランペットを持つ少年	1923	油彩／カンヴァス	66.5	48.5	個人蔵、ブラハ
1-26	J	水浴び	1928	油彩／カンヴァス	49.5	55.5	個人蔵、ブラハ
1-27	J	朝	1928	油彩／カンヴァス	42.0	50.0	個人蔵、ブラハ
1-28	J	二軒の家のある風景	1929	鉛筆／紙	6.0	6.0	個人蔵、ブラハ
1-29	J	飛行機	1929	油彩／カンヴァス	63.5	64.5	個人蔵、ブラハ
1-30	J	リングを持つ少年	1930	鉛筆／紙	10.0	4.5	個人蔵、ブラハ
1-31	J	リングを持つ少年	1930	油彩／カンヴァス	90.0	43.0	8スミチュカ財団
1-32	J	ボールを持つ少女	1930	油彩／カンヴァス	86.0	51.0	個人蔵、ブラハ
1-33	J	砂場で遊ぶ子どもたち	1931	油彩／カンヴァス	35.0	46.0	個人蔵、ブラハ
1-34	J	スカーフを巻いた少女 (娘アレンカ)	1931	油彩／カンヴァス	48.0	35.0	レトロ・ギャラリー
1-35	J	二人の少女	1932-38	油彩／カンヴァス	115.0	63.0	個人蔵、ブラハ
1-36	J	ぼさぼさ頭の少年	1930	鉛筆／紙	10.0	7.0	個人蔵、ブラハ
1-37	J	子どもの頭部	1930's	鉛筆／紙	8.0	7.5	個人蔵、ブラハ
1-38	J	ぼさぼさ頭の少年	1933	油彩／カンヴァス	74.0	42.0	個人蔵、ブラハ
1-39	J	花を持つ少女	1934	油彩／カンヴァス	71.5	51.0	個人蔵、ブラハ
1-40	J	霧の中の鳥たち	1937	油彩／カンヴァス	45.0	58.0	個人蔵、ブラハ
1-41	J	花を持つ少女	1930	鉛筆／紙			個人蔵、ブラハ
1-42	J	少女	1930	鉛筆／紙	7.5	6.0	個人蔵、ブラハ
1-43	J	少女	1930	鉛筆／紙	8.0	5.5	個人蔵、ブラハ
1-44	J	人形を持つ少女	1930	鉛筆／紙	6.0	5.0	個人蔵、ブラハ
1-45	J	帽子をかぶった幼子	1930	鉛筆／紙	10.0	6.0	個人蔵、ブラハ

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
1-46	J	モダン・タイムズ	1938	インク／紙	30.0	44.0	個人蔵、ブラハ
1-47	J	モダン・タイムズ	1938	インク／紙	30.0	44.0	個人蔵、ブラハ
1-48	J	水差しを持つ少年	1930's	鉛筆／紙	25.0	18.5	個人蔵、ブラハ
1-49	J	リングが入った籠を持つ少年	1930's	鉛筆／紙	25.0	18.5	個人蔵、ブラハ
1-50	J	リングが入った籠を持つ少年	1930's	セピアインク／紙	48.0	42.5	個人蔵、ブラハ
1-51	J	野原にいる子ども連れの女	1930's	インク／紙	30.0	46.0	個人蔵、ブラハ
1-52	J	丘で遊ぶ少年たち	1930's	インク／紙	30.0	44.0	個人蔵、ブラハ
1-55	J	二人の少女	1930's	鉛筆／紙	8.5	5.0	個人蔵、ブラハ
1-58	J	花を持つ少女Ⅱ	1930's	鉛筆／紙	8.0	7.5	個人蔵、ブラハ
1-59	J	籠を持つ子ども	1930's	鉛筆／紙	6.0	9.0	個人蔵、ブラハ
1-60	J	水差しを持つ子ども	1930's	鉛筆／紙	7.0	9.5	個人蔵、ブラハ
1-61	J	輪を持つ少女	1930's	鉛筆／紙	10.0	6.5	個人蔵、ブラハ
1-62	J	籠を持つ少女	1930's	鉛筆／紙		9.5	個人蔵、ブラハ
1-63	J	三角錐の袋を持つ少女	1930's	鉛筆／紙	6.0	8.5	個人蔵、ブラハ
1-64	J	花を持つ少女	1930's	鉛筆／紙	5.5	10.5	個人蔵、ブラハ
1-65	J	キャンドルを持つ子どもたち	1930's	鉛筆／紙	6.5	7.5	個人蔵、ブラハ
1-66	J	テーブルの子ども	1930's	鉛筆／紙	5.0	6.5	個人蔵、ブラハ
1-67	J	テーブルの子どもたち	1930's	鉛筆／紙	7.0	6.0	個人蔵、ブラハ
1-68	J	果樹園の子どもたち	1930's	インク／紙	8.5	8.5	個人蔵、ブラハ
1-69	J	果樹園の子どもたち	1930's	鉛筆／紙	9.5	8.0	個人蔵、ブラハ
1-70	J	子どもの遊び	1930's	鉛筆／紙	6.0	4.5	個人蔵、ブラハ
1-71	J	緑の中の子どもたち	1930's	鉛筆／紙	5.5	6.0	個人蔵、ブラハ
1-72	J	緑の中の子どもたち	1930's	鉛筆／紙	3.5	6.5	個人蔵、ブラハ
1-73	J	緑の中の子どもたち	1930's	鉛筆／紙	3.5	5.0	個人蔵、ブラハ
1-74	J	遊ぶ子どもたち	1942	鉛筆／紙	6.8	9.0	個人蔵、ブラハ
1-75	J	遊ぶ子どもたち	1942	鉛筆／紙	3.5	5.5	個人蔵、ブラハ
1-76	J	遊ぶ子どもたち	1942	鉛筆／紙	3.5	5.5	個人蔵、ブラハ
1-77	J	遊ぶ子どもたち	1942	鉛筆／紙	7.8	11.3	個人蔵、ブラハ
1-78	J	女と子どもたち	1942	鉛筆／紙	10.3	14.7	個人蔵、ブラハ
1-78-2	J	女と子どもたち	1942	鉛筆／紙	26.0	32.0	個人蔵、ブラハ

♪おとぎ話(会場:2階)

2-1	J	私の太ったひいおじいさんと泥棒 (道化師たち)	c.1932	インク／厚紙	24.5	19.5	ブラハ10区
2-2	J	二人組さん	1924	鉛筆／紙	5.0	5.0	個人蔵、ブラハ
2-3	J	二人組さん	1924	鉛筆／紙	5.5	4.5	個人蔵、ブラハ
2-4	J	追いかっこ	1924	鉛筆／紙	6.0	7.0	個人蔵、ブラハ
2-5	J	顔	1924	鉛筆／紙	6.0	6.5	個人蔵、ブラハ
2-6	J	ボールで遊ぶ二人の少年	1924	鉛筆／紙	6.0	6.0	個人蔵、ブラハ
2-7	J	わんぱく小僧たち	1928	鉛筆／紙	5.5	4.0	個人蔵、ブラハ
2-8	J	ボールで遊ぶ二人の少年	1928	油彩／ カンヴァス、厚紙	41.0	47.0	個人蔵、ブラハ
2-9	J	さあ、みんな おはなししよう (さあ、おきなさい)	1929	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
2-10	J	さあ、みんな おはなししよう (朝ごはん)	1929	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
2-11	J	さあ、みんな おはなししよう (あそびには あそびぎ)	1930	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
2-12	J	さあ、みんな おはなししよう (あそべない子のはなし)	1930	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
2-13	J	さあ、みんな おはなししよう (みんなのあそび)	1930	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
2-14	J	さあ、みんな おはなししよう (ブンブンまわし)	1930	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-15	J	さあ、みんな おはなししよう (おかしなできごと)	1930	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-16	J	さあ、みんな おはなししよう (こんなだったらいいのになあ)	1931	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-17	J	さあ、みんな おはなししよう (こんなだったらいいのになあ)	1931	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-18	J	さあ、みんな おはなししよう (こんなだったらいいのになあ)	1931	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-19	J	さあ、みんな おはなししよう (こんなだったらいいのになあ)	1931	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-20	J	さあ、みんな おはなししよう (おいしゃさんぎらい)	1931	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-21	J	さあ、みんな おはなししよう (すごいあばれっ子)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-22	J	王女さまと小ネコの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-23	J	王女さまと小ネコの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-24	J	王女さまと小ネコの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-25	J	カップの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-26	J	長い長いおまわりさんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-27	J	長い長いおまわりさんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-28	J	長い長いおまわりさんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-29	J	長い長いおまわりさんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-30	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-31	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-32	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-33	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-34	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-35	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-36	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-37	J	郵便屋さんの話 (『長い長いお医者さんの話』より)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-38	J	ちちんぷいぷい	1932	インク／紙	60.0	28.0	個人蔵、プラハ
2-39	J	さあ、みんな おはなししよう (おはなしばあさん)	1933	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
2-40	J	さあ、みんな おはなししよう (おはなしばあさん)	1933	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
♪いぬとねこ(会場:2階)							
3-1	J	ミンダ、すなわち犬の飼い方	1927	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
3-2	J	ミンダと散歩する カレル・チャペック	1926-30	鉛筆、インク／紙	22.5	30.0	プラハ10区
3-3	J	絨毯を糸にするミンダ	c.1930	鉛筆、インク／紙	30.0	22.0	プラハ10区
3-4	J	柵の下にもぐり込むミンダ	1930's	鉛筆、インク／紙	30.0	21.5	プラハ10区
3-5	J	カレル・チャペックに跳びかかる ミンダ	1926-30	鉛筆、インク／紙	30.0	22.0	プラハ10区
3-6	J	カレル・チャペックと発情期の ミンダ	1926-30	鉛筆、インク／紙	30.0	22.0	プラハ10区
3-7	J	ミンダと子犬たち	1926-30	鉛筆、インク／紙	30.0	22.0	プラハ10区
3-8	J	ふしぎ猫ブドレンカ	1929	インク／紙	29.7	22.0	個人蔵、プラハ
3-9	J	ふしぎ猫ブドレンカ	1929	インク、クレヨン ／紙	29.7	22.0	個人蔵、プラハ
3-10	J	ふしぎ猫ブドレンカ	1929	インク、クレヨン ／紙	29.7	22.0	個人蔵、プラハ
3-11	J	ふしぎ猫ブドレンカ	1929	インク、クレヨン ／紙	29.7	22.0	個人蔵、プラハ
3-12	J	ふしぎ猫ブドレンカ	1929	インク、鉛筆／紙	29.7	22.0	個人蔵、プラハ
3-13	J	ベン、ビジュ、ブラッキー、 ビビ、すなわち犬の飼い方	1929	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
3-14	J	ベン、ビジュ、ブラッキー、 ビビ、すなわち犬の飼い方	1929	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
3-15	J	イリス、すなわち子犬の飼い方	1929	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	チェコ国立文学館・ 美術コレクション 部門
3-16	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク、水彩、 クレヨン／紙	33.6	24.5	スロヴァキア国立 美術館
3-17	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク、水彩、 クレヨン／紙	21.9	15.0	スロヴァキア国立 美術館
3-18	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク、水彩、 クレヨン／紙	22.0	14.8	スロヴァキア国立 美術館
3-19	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク、水彩、 クレヨン／紙	22.2	15.0	スロヴァキア国立 美術館
3-20	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.1	15.0	スロヴァキア国立 美術館
3-21	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.1	15.0	スロヴァキア国立 美術館
3-22	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	27.0	22.0	スロヴァキア国立 美術館
3-23	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.7	14.9	スロヴァキア国立 美術館
3-24	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.1	15.0	スロヴァキア国立 美術館
3-25	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.1	15.1	スロヴァキア国立 美術館
3-26	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.1	15.4	スロヴァキア国立 美術館
3-27	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.1	14.8	スロヴァキア国立 美術館
3-28	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.2	14.9	スロヴァキア国立 美術館
3-29	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	30.2	22.0	スロヴァキア国立 美術館
3-30	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	22.0	15.2	スロヴァキア国立 美術館
3-31	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1929	インク／紙	21.2	15.4	スロヴァキア国立 美術館

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
3-32	J	こいぬとこねこは愉快的仲間	1929	クレヨン／紙	40.7	28.4	スロヴァキア国立美術館
3-33	J	イリス、すなわち仔犬の飼い方	1930	インク、鉛筆／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
3-34	K	ダーシェンカ 《ダーシェンカと蝶々》	1920's-30's	鉛筆、インク／ 紙、厚紙	8.5	14.5	ブラハ10区
3-35	K	ダーシェンカ 《ダーシェンカとカレル・チャペック の靴》	1920's-30's	鉛筆、インク／ 紙、厚紙	5.0	9.5	ブラハ10区
3-36	K	ダーシェンカ 《テーブルのダーシェンカ》	1920's-30's	鉛筆、インク／ 紙、厚紙			ブラハ10区
3-37	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	5.0	4.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-38	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	6.0	4.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-39	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	5.0	4.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-40	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	9.5	7.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-41	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	6.0	5.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-42	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	7.0	6.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-43	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	6.5	4.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-44	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	6.5	11.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-45	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	8.5	13.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-46	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	7.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-47	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	21.0	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-48	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	21.0	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-49	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	17.0	10.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-50	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-51	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-52	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-53	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-54	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	8.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-55	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	8.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-56	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	21.0	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-57	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	7.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-58	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	鉛筆／紙	10.5	17.0	チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-59	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	9.5	7.5	チェコ国立文学館・ 文学資料部

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
3-60	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	9.5	7.5	チェコ国立文学館・文学資料部
3-61	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	インク／紙	10.5	17.0	チェコ国立文学館・文学資料部
3-62	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-63	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-64	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-65	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-66	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-67	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-68	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-69	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-70	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-71	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-72	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-73	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-74	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-75	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-76	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-77	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-78	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部
3-79	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・文学資料部

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
3-80	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-81	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-82	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-83	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-84	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-85	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-86	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-87	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-88	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-89	K	いぬとねこ	1932	写真 (オリジナルプリントより複写)			チェコ国立文学館・ 文学資料部
3-90		ローライフフレックスオリジナル (6×6cm判二眼レフカメラ)	1929-32	金属、レンズ、 木、革、布	13.5	9.0	プラハ10区

♪さまざまな仕事(会場:地下1階)

4-2	J	夏の少年たち(バビロンの館)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	44.0	個人蔵、プラハ
4-3	J	夏の少年たち(太陽が呼んでいる)	1931	インク、鉛筆／紙	44.0	30.0	個人蔵、プラハ
4-4	J	夏の少年たち(目的地で)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	44.0	個人蔵、プラハ
4-5	J	夏の少年たち (カメラはどこだっけな?)	1931	インク、鉛筆／紙	44.0	30.0	個人蔵、プラハ
4-6	J	夏の少年たち(干し草車に乗って)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	44.0	個人蔵、プラハ
4-7	J	夏の少年たち(大雨)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	44.0	個人蔵、プラハ
4-9	J	夏の少年たち(森のひみつ)	1931	インク、鉛筆／紙	44.0	30.0	個人蔵、プラハ
4-10	J	夏の少年たち(大切な訪問客)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	44.0	個人蔵、プラハ
4-11	J	夏の少年たち (ぼくらの高原を大急ぎでゆく)	1931	インク、鉛筆／紙	30.0	44.0	個人蔵、プラハ
4-12	J	夏の少年たち(ぼくらの車)	1931	インク／紙	44.0	56.0	個人蔵、プラハ
4-13	J	二人の子どもの頭部	1938	油彩／カンヴァス	38.0	60.5	個人蔵、プラハ
4-14	J	魔女のむすこたち (エドゥダントとフランツィモル)	1933	インク／紙	30.0	22.0	個人蔵、プラハ
4-15	J	魔女のむすこたち (エドゥダントとフランツィモル)	1933	インク／紙	30.0	21.5	チェコ国立文学館・ 美術コレクション 部門
4-16	J	魔女のむすこたち (エドゥダントとフランツィモル)	1933	インク／紙	9.5	21.5	チェコ国立文学館・ 美術コレクション 部門
4-17	J	魔女のむすこたち (エドゥダントとフランツィモル)	1933	インク／紙	29.5	22.0	チェコ国立文学館・ 美術コレクション 部門

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
4-18	J	魔女のむすこたち (エドゥダントとフランツィモル)	1933	インク／紙	15.5	21.5	チェコ国立文学館・ 美術コレクション 部門
4-19	J	魔女のむすこたち (エドゥダントとフランツィモル)	1933	インク、色鉛筆／ 紙	30.0	22.0	チェコ国立文学館・ 美術コレクション 部門
4-20	J	楽しい川辺	1933	インク、クレヨン ／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
4-21	J	楽しい川辺	1933	インク、クレヨン ／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
4-22	J	楽しい川辺	1933	インク、クレヨン ／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
4-23	J	楽しい川辺	1933	インク、クレヨン ／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
4-24	J	楽しい川辺	1933	インク、クレヨン ／紙	30.0	22.0	個人蔵、ブラハ
4-47	J	私たちは新しい本を運んでいる ポスター	1930	印刷	91.0	58.5	ブラハ国立工芸 美術博物館
4-48	J	テーブルの少年	1930's	鉛筆／紙	5.0	7.0	個人蔵、ブラハ
4-49	J	サクランボをつまむ子ども	1930's	セピアインク、 鉛筆／紙	44.0	30.0	個人蔵、ブラハ
4-50	J	チェコスロヴァキア切手50ハレル デザイン画(複製)	1936	印刷	23.0	31.0	チェコ郵便博物館
4-51	J	チェコスロヴァキア切手1コルナ デザイン画(複製)	1936	印刷	23.0	31.0	チェコ郵便博物館
4-52	J	チェコスロヴァキア切手2コルナ デザイン画(複製)	1936	印刷	29.0	25.0	チェコ郵便博物館
4-53		築地小劇場『人造人間』ポスター 初演)	1924	鉛筆、インク／紙	79.0	54.2	ブラハ10区

♪子どもの視点(会場:地下1階)

5-1	J	リボンを付けた少女	1916	鉛筆／紙	7.6	4.0	個人蔵、ブラハ
5-2	J	帽子をかぶった少女	1916	鉛筆／紙	9.4	6.7	個人蔵、ブラハ
5-3	J	リボンを付けた少女	1916	鉛筆／紙	3.8	7.8	個人蔵、ブラハ
5-4	J	飛行機	1930	鉛筆／紙	6.0	7.5	個人蔵、ブラハ
5-5	J	飛行機	1928-35	パステル／紙	27.5	34.5	個人蔵、ブラハ
5-6	J	水浴び	1930's	鉛筆／紙	5.5	6.5	個人蔵、ブラハ
5-7	J	水浴び	1928-35	パステル／紙	24.5	32.0	個人蔵、ブラハ
5-8	J	裏地で	1928-35	パステル／紙	41.0	47.0	個人蔵、ブラハ
5-9	J	三人の子どもたち	1928-35	パステル／紙	27.0	35.0	個人蔵、ブラハ
5-10	J	庭の子どもたち	1929-35	パステル／紙	34.0	26.0	個人蔵、ブラハ
5-11	J	氷の上で	1930	水彩／紙	39.5	46.0	個人蔵、ブラハ
5-12	J	青い村	1930-35	パステル／紙	33.0	36.5	個人蔵、ブラハ
5-14	J	家の外	1930	水彩／紙	44.0	37.0	個人蔵、ブラハ
5-15	J	水辺	1931-35	パステル／紙	46.0	34.5	個人蔵、ブラハ
5-16	J	家の前の子どもたち	1932-33	鉛筆／紙	4.5	5.0	個人蔵、ブラハ
5-17	J	子どもたちと鳩	1932-33	鉛筆／紙	6.0	5.8	個人蔵、ブラハ
5-18	J	子どもたちと家	1932-34	鉛筆／紙	5.2	4.8	個人蔵、ブラハ
5-19	J	子どもたちと鳩	1932-34	鉛筆／紙	5.4	5.0	個人蔵、ブラハ
5-20	J	子どもたちのいる風景	1932-34	鉛筆／紙	4.3	5.5	個人蔵、ブラハ
5-21	J	村の広場の子どもたち	1932-34	鉛筆／紙	5.3	6.0	個人蔵、ブラハ
5-22	J	子どもたちのいる風景	1932-34	鉛筆／紙	4.4	5.4	個人蔵、ブラハ
5-23	J	遊ぶ子どもたち	1934	鉛筆／紙	3.5	4.3	個人蔵、ブラハ
5-24	J	遊ぶ子どもたち	1934	鉛筆／紙	3.3	4.7	個人蔵、ブラハ

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
5-25	J	畔道の子どもたち	1934	鉛筆／紙	3.4	4.5	個人蔵、ブラハ
5-26	J	子どもたちのいる風景	1934	鉛筆／紙	3.7	4.4	個人蔵、ブラハ
5-27	J	子どもたちのいる風景	1934	鉛筆／紙	5.5	5.8	個人蔵、ブラハ
5-28	J	出会い	1934	鉛筆／紙	4.8	4.0	個人蔵、ブラハ
5-31	J	原っぱの子どもたち	1930's	鉛筆／紙	7.0	6.0	個人蔵、ブラハ
5-32	J	風あげ	1930's	鉛筆／紙	8.0	9.5	個人蔵、ブラハ
参考	J	家の前の子どもたち	1932	鉛筆／紙			個人蔵、ブラハ
5-33	J	風揚げする子どもたち	1932	鉛筆／紙	4.7	5.5	個人蔵、ブラハ
5-35	J	風揚げする子どもたち	1933	油彩／カンヴァス	56.5	51.0	個人蔵、ブラハ
5-36	J	村の子どもたち	1933-35	パステル／紙	33.0	44.0	8スミチュカ財団
5-37	J	ふたつのリンゴ	1934-35	パステル／紙	25.0	34.0	個人蔵、ブラハ
5-38	J	庭にいる三人の少年たち	1934-35	パステル／紙	26.0	41.5	個人蔵、ブラハ
5-39	J	蝶々と子どもたち	1930's	鉛筆／紙	6.0	9.0	個人蔵、ブラハ
5-40	J	蝶々と子どもたち	1934-35	パステル／紙	26.0	33.5	個人蔵、ブラハ
5-41	J	出会い	1934-35	パステル／紙	33.5	26.0	個人蔵、ブラハ
5-42	J	畔道の子どもたち	1934-35	パステル／紙	24.5	32.0	8スミチュカ財団
5-43	J	子どもたちのいる風景	1930's	鉛筆／紙	5.0	5.0	個人蔵、ブラハ
5-44	J	子どもたちのいる風景	1935	油彩／カンヴァス	44.5	53.0	個人蔵、ブラハ
5-45	J	子どもの頭部	1930's	鉛筆／紙	8.5	7.0	個人蔵、ブラハ
5-46	J	子どもの頭部	1930's	パステル／紙	33.0	25.5	個人蔵、ブラハ
5-47	J	箱を持つ少女	1930's	パステル／紙	47.5	32.0	個人蔵、ブラハ
5-48	J	花を持つ子ども	1930's	鉛筆／紙	6.0	7.0	個人蔵、ブラハ
5-49	J	ぼさぼさ頭の少年	1930's	パステル／紙	46.0	34.5	個人蔵、ブラハ
5-50	J	帽子をかぶった少女	1930's	パステル／紙	33.5	25.0	個人蔵、ブラハ
5-53	J	トカゲ	1930's	パステル／紙	18.5	26.0	個人蔵、ブラハ
5-54	J	二匹の魚	1930's	パステル／紙	25.5	42.0	個人蔵、ブラハ
5-58	J	クロウタドリとミミズ	1930's	パステル／紙	23.5	30.0	個人蔵、ブラハ
5-59	J	ハヤブサと獲物	1930's	パステル／紙	30.5	23.5	個人蔵、ブラハ
5-60	J	フクロウ	1930's	パステル／紙	30.0	23.5	個人蔵、ブラハ
5-62	J	豹	1930's	パステル／紙	23.0	30.0	個人蔵、ブラハ
5-63	J	二匹のネズミ	1930's	パステル／紙	22.0	27.0	個人蔵、ブラハ
5-64	J	蛇	1930's	パステル／紙	21.0	27.0	個人蔵、ブラハ

♪新聞等の資料(会場:2階)

M1	J	展覧会図録『子どものモチーフ』	1935	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M2	J	絵葉書『子どものモチーフ』		印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M3	J	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『礼儀正しい盗賊の話』	1921.12.24	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M4	K	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『カッパの話』	1923.12.25	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M5	K	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『ミンダ、すなわち犬の飼い方』	1927.2.27	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M6	K	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『ミンダ、すなわち犬の飼い方』	1927.4.24	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M7	K	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『イリス、すなわち犬の飼い方』	1929.7.28	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M8	K	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『ふしぎ猫ブドレンカ』	1929.8.8	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M9	K	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『ベン、ビジュ、ブラッキー、 ビビ、すなわち犬の飼い方』	1929.9.15	印刷／紙			個人蔵、ブラハ
M10	J	リドヴェー・ノヴィニ切抜き 『盗賊ポルカ』	1932.12	印刷／紙			個人蔵、ブラハ

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
♪書籍(会場:2階)							
B1	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (ドイツ語版)	1933	印刷			個人蔵、ブラハ
B2	J	こいぬとこねこは愉快的仲間	1946	印刷			個人蔵、ブラハ
B3	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (ドイツ語版)	1951	印刷			個人蔵、ブラハ
B4	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (ハンガリー語版)	1960	印刷			個人蔵、ブラハ
B5	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (スロヴェニア語版)	1961	印刷			個人蔵、ブラハ
B6	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (デンマーク語版)	1965	印刷			個人蔵、ブラハ
B7	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (英語版)	1967	印刷			個人蔵、ブラハ
B8	J	『こいぬとこねこは愉快的仲間』より 「こいぬとこねこの手紙書き」 (仏語版)	1970	印刷			個人蔵、ブラハ
B9	J	『こいぬとこねこは愉快的仲間』より 「こいぬとこねこがケーキを焼く」 (仏語版)	1971	印刷			個人蔵、ブラハ
B10	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (ロシア語版)	1971	印刷			個人蔵、ブラハ
B11	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (モルドヴァ語版)	1975	印刷			個人蔵、ブラハ
B12	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (ラトヴィア語版)	1976	印刷			個人蔵、ブラハ
B13	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (スペイン語版)	1989	印刷			個人蔵、ブラハ
B14	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (スウェーデン語版)	2000	印刷			個人蔵、ブラハ
B15	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (チベット語版)	2009	印刷			個人蔵、ブラハ
B16	J	こいぬとこねこは愉快的仲間 (イタリア語版)	2014	印刷			個人蔵、ブラハ
B17	K	長い長いお医者さんの話 (スロヴァキア語版)	1958	印刷			個人蔵、ブラハ
B18	K	長い長いお医者さんの話 (ドイツ語版)	1961	印刷			個人蔵、ブラハ
B19	K	長い長いお医者さんの話 (スロヴァキア語版)	1988	印刷			個人蔵、ブラハ
B20	K	長い長いお医者さんの話 (スロヴェニア語版)	1976	印刷			個人蔵、ブラハ
B21	K	王女様と子ネコの話(ドイツ語版)	1981	印刷			個人蔵、ブラハ
B22	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (ハンガリー語)	1980	印刷			個人蔵、ブラハ
B23	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (ハンガリー語)	2004	印刷			個人蔵、ブラハ
B24	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (スペイン語)	2008	印刷			個人蔵、ブラハ
B25	J	さあ、みんな おはなししよう	1954	印刷			個人蔵、ブラハ
B26	J挿絵	クラブズブ家の11人 第二版	1926	印刷			個人蔵、ブラハ
B27	J挿絵	夏の少年たち	1931	印刷			個人蔵、ブラハ
B28	J挿絵	楽しい川辺	1933	印刷			個人蔵、ブラハ
B29	J挿絵	魔女のむすこたち	1933	印刷			個人蔵、ブラハ
B30	J挿絵	みんな、奴につづけ!	1954	印刷			個人蔵、ブラハ

No.	作者	タイトル	制作年	技法／素材	縦 cm	横 cm	所蔵先
B31	J挿絵	かじ屋横丁事件	1950	印刷			個人蔵、ブラハ
B32	K編集	おとぎ話のかご 第一巻	1918	印刷			チェコ国立文学館
B33	K編集	おとぎ話のかご 第二巻	1919	印刷			チェコ国立文学館
B34	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間 (初版)	1929	印刷			チェコ国立文学館
B35	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1937	印刷			チェコ国立文学館
B36	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間	1996	印刷			チェコ国立文学館
B37	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (英語版)	1949	印刷			チェコ国立文学館
B38	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (仏版)	1946	印刷			チェコ国立文学館
B39	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (スウェーデン語版)	1936	印刷			チェコ国立文学館
B40	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1980	印刷			チェコ国立文学館
B41	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1970	印刷			チェコ国立文学館
B42	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1955	印刷			チェコ国立文学館
B43	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1946	印刷			チェコ国立文学館
B44	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1933	印刷			チェコ国立文学館
B45	K	ダーシェンカまたは子犬の生活 (オランダ語版)	1935	印刷			チェコ国立文学館
B46	K	長い長いお医者さんの話	1946	印刷			チェコ国立文学館
B47	K	長い長いお医者さんの話(初版)	1932	印刷			チェコ国立文学館
B48	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間 (ドイツ語版)	1934	印刷			カレル・チャペック 記念館
B49	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間 (スロヴァキア語版)	1956	印刷			カレル・チャペック 記念館
B50	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間 (英語版)	1963	印刷			カレル・チャペック 記念館
B51	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間 (中国語版)	2005	印刷			カレル・チャペック 記念館
B52	J	こいぬとこねこは愉快的な仲間 (チベット語版)	2009	印刷			カレル・チャペック 記念館
B53		一件落着、あるいは、太ったひい おじさんとどろぼう、探偵たち	1933	印刷			カレル・チャペック 記念館
B54	K	ダーシェンカまたは子犬の生活	1958	印刷			カレル・チャペック 記念館
B55	K	いぬとねこ(英語版)	1940	印刷			カレル・チャペック 記念館
B56	J挿絵	夏の少年たち	1948	印刷			カレル・チャペック 記念館
B57	J絵	青い空	1948	印刷			カレル・チャペック 記念館
B58	J絵	青い空(英語版)	1954	印刷			カレル・チャペック 記念館
B59		雌鹿たちはどこに行った	1985	印刷			カレル・チャペック 記念館
B60		どうしてこの鳥は枝から落ちない の？	1988	印刷			カレル・チャペック 記念館

*作者のJはヨゼフ、Kはカレルを表します。

特別展

ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展 DIANE CLAEYS COLLECTION ANTIQUE LACE

会期＝平成30(2018)年6月12日(火)～7月29日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、産経新聞社

後援＝ベルギー大使館

企画協力＝imura art planning

協力＝近沢レース店

かつてレースは、ヨーロッパの王侯貴族たちの間で富と権力の象徴として流行し、歴史上、常に重要な価値を持ってきた。熟練した職人たちが長い時間をかけて手作業で生み出したレースは、単なる豪華な装飾品の域を超え、時には城や宝石をしのぐほどの価値を持った、きわめて優美で繊細な美の世界だったのである。

本展では、世界的なアンティーク・レースのコレクターで鑑定家でもあるダイアン・クライス氏の数万点にもおよぶ膨大なコレクションから、カトリーヌ・ド・メディシス、マリー＝アントワネット、ナポレオン・ボナパルト、ヴィクトリア女王といった、王侯貴族に由来するロイヤル・レースや、ヨーロッパのキリスト教信仰に根付く文化としてファッションやインテリアに取り入れられたレースなど、16世紀から19世紀のレース全盛期の作品を中心に、175件のアンティーク・レースを展示した。

ボーダー(縁飾り)やカラー(襟飾り)、ラベット(髪飾り)、フラウンス(スカートの裾飾り)、ハンカチーフ、扇、ショール、ストッキングなど、ファッションに取り入れられたレースや、聖杯用カバーや祭壇装飾、洗礼や聖体拝領時に使われたレース、喪に服す際に身につけられたレースなど、種類も様々で、これまで日本ではまとまって紹介されることの無かったアンティーク・レースを一堂に展覧する機会となった。中でも、第一次世界大戦中にベルギーで制作された「ウォー・レース」は、ベルギー出身である所蔵者ならではの出品作であった。

会期中は、本展監修者で所蔵者であるダイアン・クライス氏、同じく本展監修者の百々徹氏(大阪成蹊短期大学教授)の記念講演会や、19世紀にベルギーで紹介された新しいタイプのクラフトレース「プリンセスレース」を使ったワークショップ、担当学芸員によるミニ講座等を開催した。また、株式会社ビクセンの協力により、単眼鏡の無料貸し出しを実施し、好評を博した。



出品目録

作品 No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
第1章:誕生と変遷									
1	ボーダー	カットワークとニードル・デコレーション	—	イタリア	16世紀後半	9	68	麻	1
2	フラグメント	プント・ティラトもしくはテラ・ティラタ	ドローンワーク	イタリア、シチリア島	16世紀	27	50	麻	
3	ボーダー	メツァ・マンドリーナ	ニードル・ノット	イタリア	16世紀	4	92	麻	
4	カラー	レティチェラ	ニードルポイント・レース	イタリア	16世紀後半	23	75	麻	2
5	サンプラー	レティチェラ	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀半ば	76	23	麻	
6	カフス	レティチェラ(上部)、 プント・イン・アリア(下部)	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀初め	11	62	麻	3
7	カラー、カフス	プント・イン・アリア	ニードルポイント・レース	イタリア	16世紀後半から 17世紀初め			麻	4
8	襟を構成するためのモチーフ	プント・イン・アリア	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀	5	3.5	麻	
9	フラグメント	ブラトー	ネットにかがり縫い	イタリア、シチリア島	17世紀	18	43	麻	5
—	ニードルポイントレース資料								
10	ボーダー	カットワークに似せたニードルポイント	—	イタリア	16世紀後半	10	100	麻	6
11	ボーダー	テープ・レース	—	イタリア	17世紀初め	8	170	麻	
12	カフス	メゾ・プント	テープ・レースに刺繍を施したもの	イタリア	17世紀	12	55	麻	7
13	タイ	グロ・ポアン・ド・ヴニーズ	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀	10	135	麻	8
14	カラー	フラット・ポイント	ニードルポイント・レース	イタリア	1640 - 50年	32	170	麻	9
15	クラヴァット	ローズ・ポイント	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀後半	45	63	麻	10
16	パネル	フラット・ポイント	ニードルポイント・レース	イギリス	1684年	37	21	麻	11
17	ラペット	ドレスデン・レース	刺繍	ドイツ、サクソニー地方	18世紀半ば	28	104	麻	12
18	ボーダー	ドレスデン・レース	刺繍	ドイツ、サクソニー地方	18世紀半ば	10	120	絹	
19	ボーダー	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・レース	フランス	18世紀末	8	214	麻	13
—	ボビンレース資料								
20	ボーダー	イタリアン・ボビン・レース	ボビン・レース	イタリア	16世紀	2	60	麻	
21	ボーダー	イタリアン・ボビン・レース	ボビン・レース	イタリア	16世紀後半	3	96	麻	14
22	ボーダー	ミラネーゼ・レース	ボビン・レース	イタリア	17世紀半ば	12	130	麻	15
23	フラウンス	フレミッシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	17世紀後半	50	320	麻	16

作品 No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
24	ラベット	フレミッシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	1680年ごろ	80	10	麻	
25	ボーダー	フレミッシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	16世紀後半	7	400	麻	17
26	ボーダー	ジェノヴァ・レース	ボビン・レース	イタリア	17世紀前半	8	88	麻	18
27	ヴィクトリア女王の紋のあるボーダー	フレミッシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	17世紀後半	7	47	麻	19
28	ボーダー	イタリアン・ボビン・レース	ボビン・レース	イタリア	17世紀後半	7	174	麻	20
29	ボーダー	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀初め	6	140	麻	
30	ボーダー	バンシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀前半	8	136	麻	21
31	ボーダー	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀半ば	8	75	麻	22
32	ボーダー	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀半ば	4	54	麻	23
33	ボーダー	ベッドフォードシャー・レース	ボビン・レースにガラス細工	イギリス	19世紀	9	104	木綿	
34	カラー	ブロンド・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	31	58	金	24

第2章: レースに表現されるもの

35	ストッキングの装飾	ポアン・ダングレテール	ボビン・レースとニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀	34	6	木綿	
	ストッキングの装飾	ポアン・ド・ガーズ	ニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀	36	7	木綿	
36	ボーダー	ダッチ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	17世紀	10	62	麻	25
37	キャップ・バック	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀半ば	22	28	麻	
38	クラヴァット	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀第2四半期	30	40	麻	26
39	ラベット	メッセレン・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀半ば	8	50	麻	
40	ラベット	ホニトン・レース	ボビン・レース	イギリス	1720年ごろ	12	55	麻	
41	ラベット	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	1700年ごろ	11	60	麻	
42	ラベット	バンシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀第2四半期	7	60	麻	27
43	ボーダー	メッセレン・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀初め	5	66	麻	28
44	キャップ・バック	ブリュッセル・レース	ニードルポイント・レース	フランドル地方	18世紀半ば	25	19	麻	
45	扇(刺繍のあるオリジナルの箱つき)	ブリュッセル・アプリケーション	ネットの上にボビン・レース	ベルギー	19世紀後半	35	62	木綿、真珠層	
46	ショール	ポアン・ド・ガーズ	ニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀	200	450	木綿	
47	タイ	ブラバント・ヴァランシエンヌ	ボビン・レース	ベルギー	19世紀第4四半期	70	7 ~ 22	木綿	
48	フラウンス	ゲント・ヴァランシエンヌ	ボビン・レース	ベルギー	1860年ごろ	30	100	木綿	

作品 No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
49	フラウンス	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・レース	フランス	19世紀 第4四半期	24	240	木綿	
50	ボーダー	ポアン・ド・ローズ	ニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀 第4四半期	23	100	木綿	29
51	ポケット・カバー	ホニトン・レース	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	14	16	木綿	
52	ファン・リーフ	カリクマクロス	機械ネットにコットン・モスリン	アイルランド	19世紀 後半	34	48	木綿	
53	ファン・リーフ	ブリュッセル・アプリケーション	機械ネットにボビン・レースとニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀 後半	30	60	木綿	30
54	ラベット	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	フランドル 地方	18世紀 半ば	10	53	麻	
55	ショール	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	145	260	絹	31
56	パネル(ウィリアム・モリスのデザインによる)	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	1860年 ごろ	39	37	絹	32
57	ファン・リーフ	ブリュッセル・アプリケーション	ネットにニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀	25	52	木綿	33
58	ハンカチーフ	ポアン・ド・フィー	バンシュ・ボビン・レース	ベルギー	19世紀	24	24	木綿	
59	ボーダー	ローズ・ポイント	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀 第4四半期	15	180	麻	34
60	カラー用モチーフ	プント・イン・アリア	ニードルポイント・レース	イタリア	17世紀 初め	51	38	麻	35
61	ボーダー	オールド・フランダース・レース	ボビン・レースとニードルポイント・ネットグラウンド	ベルギー	19世紀 後半	22	440	綿	36
62	パネル	トーション・レース	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	24	140	木綿	
63	メモリアル・レース (エドワード・ビビー卿の紋章つき)	マルティーズ・レース	ボビン・レース	イタリア、 マルタ島	19世紀	51	51	絹	
64	タイ	デュシエスのついたブラバント・ヴァランシエンヌ	ボビン・レースとニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀 後半	240	25	木綿	37
65	ショール	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル 地方	18世紀	140	200	麻	
66	扇	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	35	67	絹と鼈甲 (中骨に オリジナルの包装 紙つき)	38
67	エプロン	フレミッシュ・レース	ボビン・レース	フランドル 地方	17世紀 後半	100	100	麻	39
68	テーブルセンター	カンツァー	ボビン・レース	イタリア	19世紀	28	43	木綿	
69	祭壇布	ヴェネツィアン・スタイルのボビン・レースで縁取られたプラトー	ネットにかかり縫い、ボビン・レース(外辺)	イタリア	19世紀	33	240	木綿	40
70	パネル	ポアン・ド・アルジャンタン	ニードルポイント・レース	フランス	1909年	12	18	木綿	

作品No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
71	ボーダー	ブリュッセル・アブリケーション	機械織りネットにボビン・レースとニードルポイント・レース	ベルギー	18世紀	24	140	木綿のネットの上に麻	41
72	テーブルセンター (フランソワ・ブーシェの追随者による中絵)	アッペンツェル	刺繍	スイス	19世紀	46	76	麻	42
73	パネル	刺繍ネット	ネットの上にネット	フランス	19世紀	85	220	木綿	
74	テーブルセット (ジャン＝フランソワ・ミレーの《種まく人》による)	ポアン・ド・パリ	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	30	45	木綿	43
75	テーブルセット (ジャン＝フランソワ・ミレーの《落穂拾い》による)	ポアン・ド・パリ	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	30	45	木綿	44
76	テーブルセット (ジャン＝フランソワ・ミレーの《晩鐘》による)	ポアン・ド・パリ	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	30	45	木綿	45
第3章: 王侯貴族のレース									
77	カトリース・ド・メデイシスのベッドカバー (一部)	レティチェラと刺繍	ニードルポイント・レースと刺繍	イタリア	16世紀	35	90	麻	46
78	カラー (カトリース・ド・メデイシスに由来)	レティチェラと プント・イン・アリア	ニードルポイント・レース	イタリア	16世紀後半	14	100	麻	47
79	ボーダー (メデイチ家に由来)	プント・イン・アリア	ニードルポイント・レース	イタリア	16世紀後半から 17世紀初め	8	118	麻	48
80	ベッドカバーの縁飾り	レティチェラと ヴァン・ダイク・レース	ニードルポイント・レースとボビン・レース	イタリアおよび フランドル地方	17世紀第2四半期	14	760	麻	65
81	ボーダー (ルイ14世に由来)	ポアン・ド・フランス	ニードルポイント・レース	フランス	17世紀第4四半期	16	120	麻	49
82	ボーダー (ルイ14世に由来)	ポアン・ド・フランス	ニードルポイント・レース	フランス	1700年ごろ	8	135	麻	50
83	クラヴァット (ルイ14世に由来)	グロ・ポアン・ド・ヴニーズ	ニードルポイント・レース	イタリア	1660年ごろ	27	27	麻	51
84	フラウンス (ルイ14世に由来)	ポアン・ド・セダン	ニードルポイント・レース	フランス	18世紀第1四半期	60	330	麻	
85	ロイヤル・ウェディングのためのフラウンス (ルイ15世に由来)	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランス	18世紀第2四半期	63	400	麻	53
86	アンガジャント (ポンパドゥール夫人に由来)	アルジャンテラ・レース	ニードルポイント・レース	フランス	1730年代	12	105	麻	52

作品 No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
87	ロイヤル・ウェディングのためのフラウンス (マリー=アントワネットに由来)	ドロッシュェルグラウンドのブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	18世紀後半	75	800	麻	54
88	ボーダー (マリー=アントワネットに由来)	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	フランス	18世紀	7	70	麻	55
89	ロイヤル・ウェディングのためのドレス飾り (神聖ローマ皇帝カール6世に由来)	ブリュッセル・レース	ボビン・レース	フランドル地方	1708年	7	103	麻	
90	ドレス飾り (マリア・テレジアに由来)	メッヘレン・レース	ボビン・レース	フランドル地方	1760年ごろ	93	6	麻	56
91	カラー (マリア・テレジアに由来)	ポアン・ド・アルジャンタン	ニードルポイント・レース	フランス	18世紀	23	40	麻	57
92	ドレス・フロント (マリア・テレジアに由来)	ポアン・ド・アルジャンタン	ニードルポイント・レース	フランス	18世紀	30	200	麻	
93	ボーダー (ナポレオン・ボナパルトに由来)	ブリュッセル・レース	ニードルポイント・レース	フランドル地方	1750年ごろ	10	140	麻	59
94	ラベット (ナポレオン・ボナパルトおよびマリー・ルイーゼ皇妃に由来) 鑑定書付	ブリュッセル・レース	ニードルポイント・レース	フランドル地方	1750年ごろ	10	140	麻	58
95	ハンカチーフ (マリー・ルイーゼ皇妃に由来)	ヴァランシエンヌ・レースとホワイトワーク	ボビン・レースと刺繍	フランス	19世紀初め	57	57	麻	60
96	ハンカチーフ	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀初め	48	48	木綿	
97	ハンカチーフ	ヴァランシエンヌ・レースとホワイトワーク	ボビン・レースと刺繍	フランス	19世紀初め	48	48	木綿	
98	ハンカチーフ	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀初め	46	46	木綿	
99	ボーダー (ナポレオン3世に由来)	メッヘレン・レース	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	18	60	木綿	61
100	カラー (ウジェニー皇妃に由来)	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・レース	フランス	19世紀第3四半期	50	40	木綿	62
101	カフス (ウジェニー皇妃に由来)	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・レース	フランス	19世紀第3四半期	17	27	木綿	63
102	シールつきフラウンス (ウジェニー皇妃に由来)	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・レース	フランス	19世紀第3四半期	30	180	木綿	64
103	フラウンス (ウジェニー皇妃に由来)	ブリュッセル・アプリケーション	機械織りネットにボビン・レースとニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀第4四半期	35	50	木綿	
104	カラー、カフス	ポアン・コルベルト	ニードルポイント・レース	ベルギー	19世紀後半			木綿	

作品 No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
105	若僭王チャールズ・エドワード・スチュアートの紋章	ドロッシェル・ネットにブリュッセル・レースのアプリケーション	ボビン・レースのネットにニードルポイント・レースのアプリケーション	フランドル地方	1780年ごろ	35	39	麻	
106	ハンカチーフ (ヴィクトリア女王に由来)	リメリック	刺繍されたニードルポイント・レース	アイルランド	19世紀	35	35	木綿	66
107	ボーダー (ヴィクトリア女王に由来)	ジェット・ビーズワーク	—	イギリス	19世紀	24	80		67
108	ロンドン万博の記念としてアルバート公によってつくられたクッション	ホニトン・レース	ボビン・レース	イギリス	1851年			絹	
109	アリス王女のウェディング用ハンカチーフ	ホニトン・レース	ボビン・レースと刺繍	イギリス	1862年	46	46	木綿	68
110	パネル (スペイン王女マリア・ルイーザ・フェルナンダに由来)	ブロンド・レース	ボビン・レース	スペイン	1864年	53	75	絹と銀	

第4章:キリスト教文化に根づくレースの役割

111	洗礼用ヴェール	刺繍とリールレース	チュール・レースに刺繍	ベルギー	1860年	90	100	木綿	75
112	洗礼用ドレス	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レースと刺繍	ベルギー	19世紀	105	75	木綿	76
113	洗礼用ボンネット	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レースと刺繍	ベルギー	19世紀	18		木綿	77
114	ボーダー	フレミッシュ・レース	ボビン・レース	フランドル地方	17世紀半ば	8	104	麻	73
115	洗礼用クッション・カバー	ヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	フランス	1830年代	30	45	木綿	
116	子ども用エプロン	リメリック	刺繍されたニードルポイント・レース	アイルランド	19世紀	70	44	木綿	
117	ボンネット	ホーリー・ポイント	ニードルポイント・レース	イギリス	18世紀後半	16	14	麻	69
118	よだれかけ	ホーリー・ポイント	ニードルポイント・レース	イギリス	18世紀半ば	30	12	麻	74
119	乳幼児用シャツ	ホーリー・ポイント	ニードルポイント・レース	イギリス	18世紀半ば	25	23	麻	70
120	乳幼児用そで	ハンドステッチとヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	イギリス	18世紀初め	15	13	麻	71
121	乳幼児用カフス	ハンドステッチとヴァランシエンヌ・レース	ボビン・レース	イギリス	18世紀初め	8	10	麻	72
122	子ども用ボンネットとバッグ	ストロー・レース	—	イギリス	19世紀			麦と絹の裏地	78
123	初聖体拝領用ドレス	ヴァランシエンヌ・レースで装飾	ボビン・レース	ベルギー	19世紀	60	60	木綿	79
124	初聖体拝領用手袋	刺繍	—	ベルギー	19世紀	16.5	7	絹	80
125	ウェディング・セット	ポアン・ド・ガーズ	ニードルポイント・レース	ベルギー	1878年			木綿	81
126	ウェディング・ティアラ	プリンセス・レース	テープ・レース	ベルギー	19世紀	9	17	木綿	
127	記念タオル	ロシア・レースと刺繍	ボビン・レースと刺繍	ロシア	19世紀	58	250	木綿	
128	ウェディング用扇 (ハイワードの箱つき)	ブリュッセル・アプリケーション	機械ネットにボビン・レース	ベルギー	19世紀	46	26	木綿、真珠層	82

作品No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
129	王族もしくは 貴族女性のド レス	デュシエスとポアン ド・ローズ	ボビン・レースと ニードルポイント・ レース	ベルギー	19世紀			木綿	83
130	スカート、ジャポ、 パーサ・カラー	カンツー	ボビン・レース	イタリア	19世紀			木綿	
131	ストッキング	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	80		絹	
132	カラー、カフス	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・ レース	フランス	19世紀			木綿	85
133	半喪のハンカ チーフ	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	36	36	絹	
134	ヘッドカバー	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	33	110	絹	
135	髪飾り	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	40	60	絹	
136	喪の記念	ベッドフォードシャー・ レース	ボビン・レース	イギリス	19世紀	2.5	18	人毛	
137	喪の記念	ベッドフォードシャー・ レース	ボビン・レース	イギリス	19世紀	2.5	19	人毛	
138	ボレロ	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	44	46	絹	
139	半喪のハンカ チーフ	リメリック	刺繍されたニードル ポイント・レース	アイルランド	19世紀	30	30	木綿	84
140	ストッキング 装飾	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	38	7	木綿	
141	ラベット	ヴァランシエンヌ・ファ イヴ・ホール・グラウンド	ボビン・レース	フランドル 地方	18世紀	9	52	麻	
142	キャップ・ バック	ヴァランシエンヌ・ファ イヴ・ホール・グラウンド	ボビン・レース	フランドル 地方	18世紀			麻	
143	ラベット	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・ レース	フランス	18世紀 後半	12	83	麻	89
	ボーダー	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・ レース	フランス	18世紀 末	4	220	麻	
	ボーダー	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・ レース	フランス	18世紀 末	8	158	麻	
	アンガジャント	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・ レース	フランス	18世紀	8	40	麻	
	カラー	ポアン・ド・アランソン	ニードルポイント・ レース	フランス	18世紀	22	60	麻	
144	聖杯カバー	レイシス(中央)、ジェ ノヴァ・レース(外辺)	フィレ・レース(中 央)、ボビン・レース (外辺)	イタリア	16世紀 後半	33	37	麻	86
145	聖杯カバー	ブラバント・ヴァランシ エンヌ	ボビン・レース	ベルギー	1869年	19	19	木綿	87
146	祭壇装飾	レティチェラ、ジェノ ヴァ・レース	ボビン・レースと ニードルポイント・ レース	イタリア	16世紀 後半	35	240	麻	88
147	孤児の作った ハンカチ	ベッドフォードシャー・ レース	ボビン・レース	インド	1900年 ごろ	23	23	木綿	
148	孤児の作った テーブル	クローシェ・レース	—	インド	1900年 ごろ			木綿	
149	孤児の作った シャツ	ベッドフォードシャー・ レース	ボビン・レース	イギリス	1880年	50	36	木綿	
150	馬車の窓用 カーテン	ブリュッセル・アプリ ケーション	ネットにボビン・ レースとニードルポ イントのモチーフ	ベルギー	19世紀	53	60	木綿	
151	テーブルクロス	ロザリン・ベルレとオー ルド・フランダース	ボビン・レースに ニードルポイントの 装飾	ベルギー	19世紀	140	140	木綿	
152	ストッキング	ブリュッセル・アプリ ケーション	機械織りネットに ボビン・レースのモ チーフ		19世紀	80		絹	

作品 No.	名称	技法	種別	制作国	制作年	サイズ (縦cm)	サイズ (横cm)	素材	図録 No.
153	ボーダー	ジェノヴァ・レース	ボビン・レース	イタリア	17世紀 前半	6	100	銀	
154	ボーダー	シャンティリ・レースに カット・ステッチ	ボビン・レース	フランス	18世紀	16	60	絹と銀	
155	乳幼児用ボン ネット	トーション・レース	ボビン・レースと刺繍	イギリス	1750年 ごろ	12		麻、 銀糸	
156	タイ	ブロンド・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	120	60	絹	
157	ケープ	リール・レース	機械織りネットに刺 繍の枠	ベルギー	19世紀	90	180	木綿、 絹糸	
158	タイ	シャンティリ・レース	ボビン・レース	フランス	19世紀	140	16	木綿	
159	タイ	ポアン・ダングレテール	ボビン・レースと ニードルポイント・ レース	ベルギー	19世紀	110	12	木綿	
160	タイ	ポアン・ド・ローズ	ニードルポイント・ レース	ベルギー	19世紀	110	12	木綿	
第5章:ウォーレース									
161	パネル	ポアン・ド・ヴニーズと バンシュ・レース	ボビン・レースと ニードルポイント・ レース	ベルギー	1914- 18年	36	55	木綿	90
162	ボーダー	ポアン・ド・パリ	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	10	70	木綿	
163	フレーム	ポアン・ド・ヴニーズ	ニードルポイント・ レース	ベルギー	1914- 18年	16	20	木綿	
164	ファン・リーフ	ポアン・ド・ガーズ	ニードルポイント・ レース	ベルギー	1916年	26	50	木綿	92
165	ファン・リーフ	ポアン・ド・ガーズ	ニードルポイント・ レース	ベルギー	1915年	22	44	木綿	
166	ハンドバッグ	デュシェスとポアン・ ド・ガーズ	ボビン・レースと ニードルポイント・ レース	ベルギー	1914- 18年	47	20	木綿	91
167	ウォー・レース とオリジナル の型紙	ポアン・ド・リール	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	11	29	木綿	
168	カラー	メッヘレン・レース	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	30	36	木綿	
169	カフス	メッヘレン・レース	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	15	32	木綿	
170	ボーダー	メッヘレン・レース	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	12	63	木綿	93
171	ハンカチーフ	メッヘレン・レース	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	20	20	木綿	
172	テーブルクロス	ポアン・ド・パリ	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	130	130	木綿	94
173	ウォー・レー ス・エンブレ ム(フランス、 ベルギー、 イングランド)	ポアン・ド・ヴニーズ	ニードルポイント・ レース	ベルギー	1915年	6	3	木綿	
174	テーブルクロス	ポアン・ド・パリ	ボビン・レース	ベルギー	1914- 18年	48	48	木綿	
175	ポアン・ド・ヴ ニーズのため の下絵	ジュール・エヴァリス ト・デ・パップ		ベルギー	1914- 18年	54	71	グワッシュ ・紙	

特別展

ハ ヲタゴエ 涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展

The Echoes from the Abyss: The Poems of Gozo Yoshimasu exhibition

会期＝平成30(2018)年8月11日(土・祝)～9月24日(月・休)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミュージゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援＝ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

吉増剛造(よします・ごうぞう 1939-)は、1960年代から現在にいたるまで、日本の現代詩をリードし続けてきた。その活動は、詩をはじめとすることばの領域にとどまらず、写真や映像、造形など多岐にわたり、私たちが魅了し続けている。

常にことばの限界を押し広げてきた吉増の詩は、日本各地、世界各国をめぐり、古今東西、有名無名の人々との交感を重ねる中で綴られてきた。本展は、「Ⅰ、詩集の彼方へ」「Ⅱ、写真を旅する」「Ⅲ、響かせる手」の三部で構成される。吉増の各時代の代表的な詩集を柱とし、詩や写真をはじめとする作品群に加えて、関連するさまざまな表現者の作品や資料など135点を展示することで、半世紀以上におよぶ吉増の活動を辿った。

「Ⅰ、詩集の彼方へ」では、吉増の代表的な詩集を時系列で原稿などの資料とともに紹介し、加えて彼と交流のあった美術家の若林奮や写真家の荒木経惟の作品を展示し、吉増の活動の広がりを示した。続く「Ⅱ、写真を旅する」では、吉増の詩作以外のライフワークの一つである多重露光写真の作品を紹介することで、吉増のイメージの世界を提示した。さらに「Ⅲ、響かせる手」では、西脇順三郎、萩原朔太郎らの原稿や与謝蕪村や浦上玉堂の詩画軸を展示し、吉増の詩のイメージの淵源を紹介した。

会期中、吉増氏自身によるギャラリートークや朗読をはじめ、ギタリストの大友良英氏とのパフォーマンスコラボや現代歌壇の重鎮、岡野弘彦氏との対談といったイベントが開催され、詩人・吉増剛造の人間像を生で知って頂ける貴重な機会を設けることができた。



出品目録

作品No.	展示期間	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
I 詩集の彼方へ						
1-1-1~2		吉増剛造	日記(1969-1970年)	1969-70年	ノート	作家蔵
1-1-3		吉増剛造	『三田詩人』	1960年代	雑誌	作家蔵
1-1-4		吉増剛造	『ドラムカン』	1960年代	雑誌	作家蔵
1-1-6		岡田隆彦	瀧口修造宛葉書(1966.1.11)	1966年	葉書	慶應義塾大学アート・センター
1-1-7		吉増剛造	「闇」初出誌書き込み 『日本きゃらばん』第18集	1967年	雑誌	作家蔵
1-1-8		吉増剛造	「古代天文台」初出誌書き込み 『現代詩手帖』1970年2月号	1970年	雑誌	作家蔵
1-1-10		中西夏之	コンパクト・オブジェ	1962年	ミクストメディア	足利市立美術館 (浅川コレクション)
1-1-11		中西夏之	コンパクト・オブジェ	1962年	ミクストメディア	足利市立美術館 (浅川コレクション)
1-1-12		中西夏之	コンパクト・オブジェ	1962年	ミクストメディア	足利市立美術館 (浅川コレクション)
1-1-13		加納光於	吉増剛造詩集 『わが悪魔祓い』のために	1974年	レリーフプリント・紙	千葉市美術館
1-1-14		加納光於	桃色の魚座に沿って -吉増剛造のために-	1974年	木、金属、 鉛筆、蜂	千葉市美術館
1-1-15		赤瀬川原平	MY POESY 4 吉増剛造 「燭立」のために (『婦人公論』1969年4月号掲載)	1969年	鉛筆・紙	個人蔵
1-1-16		中平卓馬	無題	1969年頃	ゼラチン・シル バープリント	東京都写真美術館
1-1-17		中平卓馬	無題	1968年頃	ゼラチン・シル バープリント	東京都写真美術館
1-1-18		中平卓馬	無題	1968-70年	ゼラチン・シル バープリント	東京都写真美術館
1-1-19		森山大道	東京タワーから	1968-71年	ゼラチン・シル バープリント	東京工芸大学 写大ギャラリー
1-1-20		森山大道	土方巽	1960年代	ゼラチン・シル バープリント	東京工芸大学 写大ギャラリー
1-1-21		森山大道	まずたしからしさの世界をす てろ	1960年代	ゼラチン・シル バープリント	東京工芸大学 写大ギャラリー
1-1-22		ダイアン・ アーバス	リビングルームのクリスマス ツリー	1963年	ゼラチン・シル バープリント	東京都写真美術館
1-1-23		ダイアン・ アーバス	一卵性双生児	1967年	ゼラチン・シル バープリント	東京都写真美術館
1-1-24		吉増剛造	「王国」原稿	1972年	原稿	作家蔵
1-2-1		吉増剛造	「八月の夕暮れ、一角獣よ」原稿	1970年代	原稿	作家蔵
1-2-2		吉増剛造	『太陽の川』掲載写真	1970年代	インクジェット・ プリント	作家蔵
1-2-3		若林奮	無題(I.W.葉っぱの箱)	1984-93年	銅、木、針金など	個人蔵
1-2-4		若林奮	LIVRE OBJECT	1971年	鉄、木、吉増剛造 詩集『頭脳の塔』(青 地社1971年)ほか	個人蔵
1-2-5		若林奮	ドローイング1984	1984年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-6		若林奮	ドローイング1999.2.4	1999年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-7		若林奮	ドローイング1999.8.1	1999年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-8		若林奮	ドローイング2000.7.16	2000年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-9		若林奮	ドローイング2003.5.4	2003年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO

作品No.	展示期間	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
1-2-10		若林奮	ドローイング1997.8.27 (['武蔵野美術』No106 (武蔵野美術大学出版部)挿画-緑の森の一角獣-旅 その3に掲載)	1997年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-11		若林奮	ドローイング1998.6.2 (['武蔵野美術』No109 (武蔵野美術大学出版部)挿画-緑の森の一角獣-旅 その6に掲載)	1998年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-12		若林奮	ドローイング1998.12.6 (['武蔵野美術』No111 (武蔵野美術大学出版部)挿画-緑の森の一角獣-旅 その8に掲載)	1999年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-13		若林奮	ドローイング1999.3 (['武蔵野美術』No112 (武蔵野美術大学出版部)挿画「道路の遠近を忘れてたり」-地図 その1に掲載)	1999年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-14		若林奮	ドローイング2000.4.23 (['武蔵野美術』No117 (武蔵野美術大学出版部)挿画「道路の遠近を忘れてたり」その6に掲載)	2000年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-15		若林奮	ドローイング2000.7.23 (['武蔵野美術』No118 (武蔵野美術大学出版部)挿画「道路の遠近を忘れてたり」その7に掲載)	2000年	鉛筆、色鉛筆・紙	WAKABAYASHI STUDIO
1-2-16		吉増剛造	「道路(ミチ)の遠近を忘れてたり」原稿	2000年	原稿	作家蔵
1-2-17		吉増剛造	銅板打刻作品	1990-2000年代	銅板打刻	作家蔵
1-3-1		吉増剛造	「絵馬、a thousand steps」原稿	1970年代	原稿	個人蔵
1-3-2		吉増剛造	恐山撮影写真	1977年頃	インクジェット・プリント	作家蔵
1-3-3		北村透谷	石坂美那宛書簡 (1887年9月3日)複製	原本: 1887年	書簡	日本近代文学館
1-3-4		吉増剛造	『大病院脇に聳えたつ一本の巨樹への手紙』初出誌書き込み	1980年代	雑誌	作家蔵
1-4-1		吉増剛造	「オシリス、石ノ神」原稿	1982年	原稿	作家蔵
1-4-2		吉増剛造	「抹消された「夕闇ノ月」の聲と光ル魚」原稿	1980年代	原稿	作家蔵
1-4-3		吉増剛造	「世田谷ノ繁ミの奥へ」原稿	1980年代	原稿	作家蔵
1-4-4		吉増剛造	「奮起せよ、アムンゼン」校正原稿	1980年代	原稿	作家蔵
1-4-5		折口信夫	『死者の書』初出誌自装本	1939年	自装本	國學院大學 折口博士記念古代研究所
1-4-7		折口信夫	稿本『逍空萬葉集』原稿	1940年頃	原稿	國學院大學 折口博士記念古代研究所
1-4-9	前期	折口信夫	歌稿「八汐路」	不詳	紙本墨書	慶應義塾図書館
1-4-10	後期	折口信夫	歌稿「わがはらから」	不詳	紙本墨書	慶應義塾図書館
1-4-12		柳田國男	松山からの田山花袋宛絵葉書 (明治41年7月31日)	1908年	葉書	田山花袋記念文学館
1-4-13		柳田國男	沖縄県那覇からの田山花袋宛書簡 (大正10年1月16日)	1921年	書簡	田山花袋記念文学館
1-4-14		柳田國男	宮古島からの田山花袋宛絵葉書 (大正10年1月21日)	1921年	葉書	田山花袋記念文学館
1-4-15	前期	中上健次	「熊野集4 花郎」原稿	1980年	原稿	個人蔵
1-4-16	前期	中上健次	「火まつり」原稿	1985年	原稿	個人蔵
1-4-17	後期	中上健次	「軽蔑」原稿	1991年	原稿	個人蔵
1-4-18	後期	中上健次	「讃歌」原稿	1987年	原稿	個人蔵
1-4-19		吉増剛造	「歌の契りの深さと野生-折口信夫Ⅱ」原稿	2000年代前半	原稿	作家蔵

作品No.	展示期間	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
1-4-20		吉増剛造	「折口信夫の歩行(一)母の座」原稿	1990年代後半	原稿	作家蔵
1-4-21		吉増剛造	「柳田國男ノート」原稿	1990年代前半	原稿	作家蔵
1-4-22		吉増剛造	「浮島の森を、鶴音手、……」原稿	1998年	原稿	作家蔵
1-4-23		吉増剛造	「メモ(2006.12.1)-熊野」原稿	2006年	原稿	作家蔵
1-5-1		吉増剛造	「螺旋歌」原稿	1980年代	原稿	作家蔵
1-5-2		吉増剛造	「螺旋歌」校正稿	1980年代	原稿	作家蔵
1-6-1		吉増剛造	「庭—黒い惑星の逢い引きの道」原稿	1990年	原稿	作家蔵
1-6-2		荒木経惟	センチメンタルな旅	1971年	ゼラチン・シルバープリント	東京都写真美術館
1-6-3		荒木経惟	センチメンタルな旅	1971年	ゼラチン・シルバープリント	東京都写真美術館
1-6-4		荒木経惟	センチメンタルな旅	1971年	ゼラチン・シルバープリント	東京都写真美術館
1-6-5		荒木経惟	センチメンタルな旅	1971年	ゼラチン・シルバープリント	東京都写真美術館
1-6-10		吉増剛造	「石狩シーツ」原稿	1990年代	原稿	北海道立文学館
1-7-1		吉増剛造	「木の「妖精」の羽衣が、……」原稿	1995年	原稿	作家蔵
1-8-1		吉増剛造	「写真日記」原稿	1998年	原稿	作家蔵
1-8-2		吉増剛造	「旅のまんだら絵」原稿	1999-2000年	原稿	作家蔵
1-8-3		吉増剛造	「The Other Voice」原稿	1999年	原稿	作家蔵
1-8-7		吉増剛造	「アイルランド、刹那の眼」原稿	2005年	原稿	作家蔵
1-8-12		吉増剛造	「メモ-高銀先生のこと」原稿	2007年	原稿	作家蔵
1-9-5		大平(島尾)ミホ	島尾敏雄宛手紙(1945.8.13)	1945年	書簡	かごしま近代文学館
1-9-6		島尾敏雄	大平(島尾)ミホ宛手紙(1945.8.14)	1945年	書簡	かごしま近代文学館
1-9-7		島尾敏雄	「その夜」(冒頭:命をかけて〜)草稿	不詳	原稿	かごしま近代文学館
1-9-8		島尾ミホ	呑之浦にて 敏雄の後姿	1979年	写真	かごしま近代文学館
1-9-9		島尾敏雄	岩に登るミホ	1979年	写真	かごしま近代文学館
1-9-10		島尾敏雄	岩礁に海を背に立つミホ	1979年	写真	かごしま近代文学館
1-9-11		島尾敏雄	呑之浦にて 白い大きな岩	1979年	写真	かごしま近代文学館
1-9-12		島尾敏雄	砂浜の巣穴	1979年	写真	かごしま近代文学館
1-9-17		吉増剛造	「漢字ノ紙ノ、爆けて燃える、音がして、黙って居たのが、ブラジルだった」原稿	2006年	原稿	作家蔵
1-9-19		吉増剛造	「島尾敏雄 研究ノート」原稿	1993年	原稿	作家蔵
1-9-20		吉増剛造	「飛葉一棘が、人生の小川をぎゅしりと流れている」原稿	2007年	原稿	作家蔵
1-9-21		吉増剛造	「光の棘」原稿	2004年	原稿	作家蔵
1-10-1		吉増剛造	裸のメモ(与謝蕪村)原稿	2004年	原稿	作家蔵
1-10-2		吉増剛造	裸のメモ-2007.10.21(萩原朔太郎)原稿	2007年	原稿	作家蔵
1-10-3	※a	吉増剛造	裸のメモ(芥川龍之介フィルムkappa)原稿ほか	2008年/2000年代	原稿	作家蔵
1-10-4	※a	吉増剛造	「詩の傍らで」原稿	2012年	原稿	作家蔵
1-10-5	※a	吉増剛造	『怪物君』原稿	2015年頃	原稿	作家蔵

II 写真を旅する

2-1		吉増剛造	モノクロ写真	1970年代頃	インクジェット・プリント	作家蔵
2-2		吉増剛造	カラー写真	1980-90年代頃	インクジェット・プリント	作家蔵
2-3		吉増剛造	『何処にもない木』(詩論社、2006年)掲載写真作品	1990年代	インクジェット・プリント	作家蔵
2-4		吉増剛造	多重露光写真	1990-2000年代	インクジェット・プリント/A~J:発色現像方式印画	作家蔵

作品No.	展示期間	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
Ⅲ 響かせる手						
3-1		吉増剛造	『根源乃手/根源乃(亡露ノ手)原稿	2010年代	原稿	作家蔵
3-2		吉本隆明	『日時計篇』原稿	1950年	原稿	日本近代文学館
3-3		西脇順三郎	漢語ギリシア語ノート	1967年	ノート	慶應義塾大学アート・センター
3-4		西脇順三郎	主として Greek 語の話	1967年	ノート	慶應義塾大学アート・センター
3-5		瀧口修造	デカルコマニー	1962年	デカルコマニー・紙	足利市立美術館 (浅川コレクション)
3-6		芥川龍之介	水虎晩帰図	不詳	紙本墨書	日本近代文学館
3-9	※b	南方熊楠	土宜法龍熊楠書簡(熊楠マンガラ)複製	原本: 1903年	紙本墨書	南方熊楠顕彰館
3-10	8/11 ~ 26	萩原朔太郎	「手」原稿	1923年頃	原稿	前橋市文学館
3-11	8/28 ~ 9/9	萩原朔太郎	「竹」原稿	1923年頃	原稿	前橋市文学館
3-12	9/11 ~ 24	萩原朔太郎	「蝶を夢む」原稿	1923年頃	原稿	前橋市文学館
3-13	8/11 ~ 26 (8/28~原寸大(保ル))	萩原朔太郎	萩原榮次宛書簡 (大正3年11月27日)	1914年	書簡	前橋市文学館
3-14		萩原朔太郎	「郷愁の詩人 与謝蕪村」原稿	1933年頃	原稿	前橋市文学館
3-15	8/11 ~ 26	萩原朔太郎	自筆楽譜「機織る乙女」	大正時代	原稿	前橋市文学館
3-15-2	8/28 ~ 9/24	萩原朔太郎	自筆楽譜「機織る乙女」(レプリカ)		レプリカ	前橋市文学館
3-17	8/28 ~ 9/9	萩原朔太郎	薄暮	不詳	写真	前橋市文学館
3-18	廃園:8/11~26 寂しさ: 8/28~9/9	萩原朔太郎	廃園・寂しさ	廃園:1913年・ 寂しさ:不詳	写真	前橋市文学館
3-19	8/28 ~ 9/9	萩原朔太郎	初冬	不詳	写真	前橋市文学館
3-20	8/11 ~ 26	萩原朔太郎	村路	大正時代	写真	前橋市文学館
3-21	9/11 ~ 24	萩原朔太郎	郷愁	大正時代	写真	前橋市文学館
3-24		石川啄木	詩稿ノート「はてしなき議論の後」	1911年	ノート	日本近代文学館
3-25		川端康成	「初空に鶴千羽舞ふ幻の」色紙	不詳	紙本墨書	龍泉寺美術館
3-26		川合小梅	「小梅日記」	1849-85年	原稿	和歌山県立図書館
3-27		松尾芭蕉	「世にふるも」句文懐紙	1681-84年	紙本墨書	山寺芭蕉記念館
3-28		松尾芭蕉	「ちりうせぬ」句文懐紙	江戸時代	紙本墨書	山寺芭蕉記念館
3-30		与謝蕪村	山水図	1782年	絹本着色	個人蔵
3-31		浦上玉堂	山林読書図	1810年頃	紙本墨書淡彩	福島県立博物館
3-34		浦上玉堂	草書一行書 「世外交情唯此而已須有大観眼」	1790年代頃	紙本墨書	千葉市美術館 (西谷コレクション)
3-36		浦上玉堂	蓮峯雪花図	1808-11年 頃	紙本墨書	千葉市美術館 (西谷コレクション)
3-37		良寛	今日乞食逢・驟雨	1820年頃	紙本墨書	良寛記念館
3-38		良寛	あさづくひ	1828年頃	紙本墨書	良寛記念館
3-39		吉増剛造	火ノ刺繍	2017年	原稿	作家蔵
3-41		吉増剛造	「宇宙的な心の細さの人② - 西脇順三郎」原稿	2000年代 前半	原稿	作家蔵
3-42		吉増剛造	「樹の河(瀧口修造)」原稿	2005年	原稿	作家蔵
3-43		吉増剛造	「無言の仕草へI,II - 石川啄木」原稿	2000年代前半	原稿	作家蔵
3-45		吉増剛造	「メモ- 千々にくだけて 2006.11.10 (松尾芭蕉)」原稿	2006年	原稿	作家蔵
3-46		吉増剛造	「良寛さん、鉢の子、ほなーる」原稿	2000年	原稿	作家蔵
特別出陳	※ b	吉増剛造	詩作の旅メモ	1988年	原稿	作家蔵

※ ※aは地下1階展示室に、※bは2階展示室に展示してあります。

特別展

林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面

The Feudal Lord's Noh Robes and Masks : From the Collection of Hayashibara Museum of Art

会期＝平成30(2018)年10月6日(土)～11月25日(日)

会場＝地下1階主陳列室、2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

特別協力＝林原美術館

林原美術館(岡山県岡山市)は、昭和39年(1964)、風光明媚な岡山城の内堀に面した旧二の丸屋敷対面所跡に開館した美術館である。実業家・林原一郎氏が蒐集した美術品を収蔵し、特に旧岡山藩主池田家から継承した大名道具がその中核をなし、中でも能装束・狂言装束とその道具類の豊富さに特徴がある。また、江戸時代に武家のたしなみとして多くの大名が演能や能の稽古に励み、能装束もそれに伴い発展し、豪華で華麗な装飾で当時の最高の技術を凝らして作られた。舞で傷みが生じるため、現代には遺されにくく、特に桃山時代の古い能装束は稀少であるが、林原美術館には重要文化財のものを含め10領が収蔵されている。

本展では、その中から桃山時代の4領を含め、全40領と、蔓帯40筋、腰帯20筋、中啓10本、そして、歴代藩主が使用した能面15面を紹介した。

構成は、能装束を大きく女役の能装束、男役の能装束にわけた。第一会場では、女役の能装束を、小袖ものとして唐織・縫箔・摺箔、大袖ものとして長絹・舞衣とともに、蔓帯を展示。第二会場では、男役の能装束を、大袖ものとして狩衣・法被・側次、小袖ものとして厚板とともに、腰帯を展示。特別陳列室で中啓と能面を展示した。能や能装束は身近なものとはいえないため、本展では能装束の文様の多彩さと技術の高さを紹介することに主眼をおき、一点ずつの解説はそれらが平易にわかるように努めた。また、理解の一助となるように、実際に着用している能装束の出立と名称の写真パネル、文様の名称のパネルなどを各所に置いた。

会期中は、本展監修者である長崎巖氏(共立女子大学博物館館長・家政学部教授)と、能面選定に協力いただいた田邊三郎助氏(町田市立博物館館長・武蔵野美術大学名誉教授)の講演、その他紋きり遊びのワークショップや、観世流能楽師の上田公威氏による謡を実施。上記監修者のほか、中啓や能については門脇幸恵氏(国立劇場企画編集室主任)にご協力いただいた。



出品目録

女役の装束

	名称	時代		法量 (丈・拵、cm)		展示期間	
						10/6-10/28	10/30-11/25
1	こはくだんこうし しだれやなぎきりえだきりもようからおり ◎紅白段格子枝垂柳菊折枝桐模様唐織	桃山時代	16世紀後半	140.0	59.5	●	●
2	べにじかくつな きくすいせんまるもようからおり 紅地角繫ぎ菊水仙丸模様唐織	江戸時代	18世紀後半	142.5	68.0	●	
3	べにじこうし ぼたんはぎもようからおり 紅地格子牡丹萩模様唐織	江戸時代	18世紀後半	150.0	71.0		●
4	べにもえぎだんまんじつな かこめおうかもようからおり 紅萌黄段疋繫ぎ籠目桜花模様唐織	江戸時代	18世紀後半	151.0	70.0	●	
5	しろべにこいちやだんまじつな しつぼうつな きくおりえだ 白濃茶段疋繫ぎ七宝繫ぎ菊折枝 ゆうがおちようもようからおり 夕顔蝶模様唐織	江戸時代	18世紀後半	143.6	70.4		●
6	しろべにもえぎだんがけつてっせんからくさもようからおり 白紅萌黄段霞鉄線唐草模様唐織	江戸時代	18世紀後半	150.0	71.8	●	
7	きじばいじゆまどもようからおり 黄地梅樹窓模様唐織	江戸時代	19世紀前半	144.2	71.0		●
8	もえぎしろだんしだれざくらもようからおり 萌黄白段枝垂桜模様唐織(子方用)	江戸時代	19世紀前半	126.7	60.5	●	
9	もえぎししだれざくらもようからおり 萌黄地枝垂桜模様唐織	江戸時代	19世紀前半	142.0	75.0		●
10	べにじしだれやなぎきりえだきりもようからおり 紅地枝垂柳扇地紙尾長鳥模様唐織	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	141.6	66.8	●	
11	しろじまがきくもようからおり 白地雛菊模様唐織	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	142.6	69.0		●
12	べにじやまざくら丸文鳥模様縫箔 ◎紅地山桜丸文鳥模様縫箔	江戸時代	17世紀初期	132.0	53.5	●	●
13	しろじそうかもようぬいはく ◎白地草花模様縫箔	桃山時代	16世紀後半	134.0	57.0	●	●
14	こはくだんゆきもちぼしうもようぬいはく 紅白段雪持芭蕉模様縫箔	桃山時代	16世紀後半	146.8	62.0	●	
15	しろじしうじゆふじぎきとうじゆもようぬいはく 白地松樹藤笹桐樹模様縫箔	江戸時代	18世紀	144.5	69.0		●
16	しろじいしだんはなまるもようぬいはく 白地石畳花丸模様縫箔	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	146.0	68.4		●
17	こはくだんしうじゆ ぼたんなどでしこまふきおりえだもようぬいはく 紅白段松樹牡丹撫子山吹折枝模様縫箔	江戸時代	19世紀前半	148.0	69.0	●	
18	こはくだんしだれざくらもようすりはく ◎紅白段枝垂桜模様摺箔	桃山時代	16世紀後半	132.0	58.0	●	●
19	しろじきつこうつなもようすりはく 白地亀甲繫ぎ模様摺箔	江戸時代	19世紀前半	144.5	62.2	●	
20	しろべにきだんかこめぼたんおりえだもようすりはく 白紅黄段籠目牡丹折枝模様摺箔	江戸時代	19世紀前半	148.0	57.0		●
21	こんじおうふじたんぼぼもようちうけん 紺地扇藤蒲公英模様長絹	江戸時代	18世紀	102.0	101.0	●	
22	あざじはなのしりゅうすいおうかもようちうけん 紫地花熨斗流水桜花模様長絹	江戸時代	18世紀	106.0	107.2		●
23	うすちやしぼたんからくさわかまつもようちうけん 薄茶地牡丹唐草若松模様長絹	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	107.0	105.0	●	
24	はなだじむらよびしからくさもようちうけん 縹地葎四つ菱唐草模様長絹	江戸時代	19世紀前半	104.5	107.2		●
25	あざじかわひしつなきくおりえだもようまいぎぬ 紫地変り菱繫ぎ菊折枝模様舞衣	江戸時代	19世紀前半	145.0	112.5	●	
26	もえぎじからはなもようまいぎぬ 萌黄地唐花模様舞衣	江戸時代	19世紀前半	147.5	111.0		●

男役の装束

	名称	時代		法量 (丈・拵、cm)		展示期間	
						10/6-10/28	10/30-11/25
27	こんじたてわくみどろもようあせかりぎぬ 紺地立浦三つ巴模様袷狩衣	江戸時代	19世紀前半	158.0	101.0	●	
28	しろじせいがいほまつもようあせかりぎぬ 白地青海波松模様袷狩衣	江戸時代	18世紀後半	152.0	103.5		●
29	もえぎじたけもようひとかりぎぬ 萌黄地竹模様単狩衣	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	174.0	107.0	●	

	名称	時代		法量 (丈・拵、cm)		展示期間	
						10/6-10/28	10/30-11/25
30	もえぎ じわかまつ もようひなかりぎぬ 萌黄地若松模様単狩衣	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	176.3	105.9		●
31	しろじこ じつ も じからくさ もようおぼほつび 白地壽文字草唐模様袷法被	江戸時代	19世紀前半	107.4	100.8	●	
32	こんじ つるくさ もようひなほつび 紺地蔓草模様単法被	江戸時代	19世紀前半	119.0	115.0		●
33	こんじ ぼたんたてわく もようそばつき 紺地牡丹立涌模様側次	江戸時代	19世紀前半	90.6	60.6	●	
34	こんじ りんぼう もようそばつき 紺地輪宝模様側次	江戸時代	19世紀前半	104.0	75.0		●
35	しろじこうし からじ しりゅう もようあつた 白地格子唐獅子龍模様厚板	江戸時代	19世紀前半	144.0	69.5	●	
36	あさぎ しろべにだんまりからくさ もようあつた 浅葱白紅段桐唐草模様厚板	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	148.0	70.0		●
37	べにもえぎ だんずいりうりまる もようあつた 紅萌黄段瑞雲龍丸模様厚板	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	152.0	71.0	●	
38	べにもえぎ ちゃだんだてしまし だれざりあさのは もようあつた 紅萌黄茶段縦縞枝垂桜麻葉模様厚板	江戸時代	19世紀前半	147.5	65.5		●
39	べにもえぎ だんこう しろいもんげん じくま もようあつた 紅萌黄段格子雷文源氏車模様厚板	江戸時代	19世紀前半	151.0	68.0	●	
40	べにじこうし はなからくさ もようあつた 紅地格子花唐草模様厚板	江戸時代	18世紀後半～ 19世紀前半	144.5	72.0		●

おび
鬘帯

	名称	時代		法量(幅、cm)	展示期間	
					10/6-10/28	10/30-11/25
41-1	まつかわひしつな はな もようおび 松皮菱繋ぎ花模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8		●
41-2	まつかわひしつな おう ちら もようおび 松皮菱繋ぎ桜花散し模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.6		●
41-3	はなびしつな もようおび 花菱繋ぎ模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-4	うづまき もようおび 渦巻模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.9		●
41-5	かんたてわくまるもん もようおび 鑲立浦丸文模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4		●
41-6	もんい かわ かんつな もようおび 文入り変り鑲繋ぎ模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-7	しっぽうつな もようおび 七宝繋ぎ模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	4.1		●
41-8	よ ぼ からくさ もようおび 四つ葉唐草模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.6		●
41-9	うろこ もようおび 鱗模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-10	うろこ もようおび 鱗模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.7		●
41-11	たてわくきりもん もようおび 立涌桐文模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-12	たてわくきりもん もようおび 立涌桐文模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8		●
41-13	の いきこ もようおび 野苺模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.6		●
41-14	の いちこ もようおび 野苺模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4		●
41-15	かさおう か もようおび 笠桜花模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.9		●
41-16	くもたてわく もようおび 雲立涌模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4		●

	名称	時代		法量(幅、cm)	展示期間	
					10/6-10/28	10/30-11/25
41-17	さくらおりえだ も ようからおび 桜折枝模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.6	●	
41-18	さくらおりえだ も ようからおび 桜折枝模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.7		●
41-19	ひがきおうか も ようからおび 檜垣桜花模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.3	●	
41-20	ひがきばい か も ようからおび 檜垣梅花模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.3		●
41-21	ばい か ちら も ようからおび 梅花散し模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8	●	
41-22	やまぶき も ようからおび 山吹模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-23	ゆうがお も ようからおび 夕顔模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4	●	
41-24	しまつばき も ようからおび 縞椿模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4		●
41-25	ゆきもちさきゆきわ も ようからおび 雪持笹雪輪模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8	●	
41-26	ゆきわ ささりんどう も ようからおび 雪輪笹龍胆模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8		●
41-27	かすみおうか も ようからおび 霞桜花模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.6	●	
41-28	うちわからくさ も ようからおび 団扇唐草模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-29	とうじゆほうおう も ようからおび 桐樹鳳凰模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8	●	
41-30	さくらおりえだ も ようからおび 橋折枝模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4		●
41-31	とりい ささ も ようからおび 鳥居笹模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8	●	
41-32	ささりんどう み す も ようからおび 笹龍胆御簾模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.3		●
41-33	かわ ひしかえては ちら も ようからおび 変り菱楓葉散し模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4	●	
41-34	まがきあきき も ようからおび 籬秋草模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5		●
41-35	しだれざくら も ようからおび 枝垂桜模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	4.0	●	
41-36	だんしだれざくら も ようからおび 段枝垂桜模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.8		●
41-37	はなのし も ようからおび 花鬘斗模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.5	●	
41-38	せんすふじ も ようからおび 扇子藤模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.7		●
41-39	ばいじゆ も ようからおび 梅樹模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.4	●	
41-40	しだれやなぎ も ようからおび 枝垂柳模様鬘帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	3.3		●

腰帯

	名称	時代		法量(幅、cm)	展示期間	
					10/6-10/28	10/30-11/25
42-1	みどえも ようこしおび 三つ巴模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	7.3	●	
42-2	かわかんつな ほしがた も ようこしおび 変り鑲繋ぎ星形模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.0		●

	名称	時代		法量(幅、cm)		展示期間	
						10/6-10/28	10/30-11/25
42-3	ふせちようまる も ようこしおび 臥蝶丸模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	5.8		●	
42-4	か ちりも ようこしおび 窠に霞模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.8			●
42-5	きつ か も ようこしおび 菊花模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.7		●	
42-6	てっせん か も ようこしおび 鉄線花模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	5.9			●
42-7	うずまき も ようこしおび 渦巻模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.8		●	
42-8	ほうおうまる も ようこしおび 鳳凰丸模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	7.0			●
42-9	からはなからくさ も ようこしおび 唐花唐草模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.9		●	
42-10	かえでは も ようこしおび 楓葉模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.3			●
42-11	うめまる も ようこしおび 梅丸模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.6		●	
42-12	きくはまる も ようこしおび 菊葉丸模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.6			●
42-13	やぶ こうし かえでは も ようこしおび 破れ格子楓葉模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.8		●	
42-14	たてわくじ じまる も ようこしおび 立涌壽字丸模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	7.0			●
42-15	むしかこうか も ようこしおび 虫籠藤花模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.8		●	
42-16	しだれざくら も ようこしおび 枝垂桜模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	7.0			●
42-17	あさがお も ようこしおび 朝顔模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.9		●	
42-18	ゆうがお も ようこしおび 夕顔模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.8			●
42-19	なんてん も ようこしおび 南天模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.9		●	
42-20	わかまつめ も ようこしおび 若松梅模様腰帯	江戸時代	18世紀～ 19世紀前半	6.9			●

ちゅうけい
中啓

	名称	時代		法量 (扇面幅・長さ、cm)		展示期間	
						10/6-10/28	10/30-11/25
43	しろほねきん じつまべにおうぎ 白骨金地妻紅扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	44.1	32.3	●	
44	くろほねきん じいろ な おうぎ 黒骨金地色無シ扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	47.9	32.0		●
45	かづらおうぎ 鬘扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	47.5	32.9	●	
46	かづらおうぎ 鬘扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	48.5	33.2		●
47	いろ な かづらおうぎ 色無シ鬘扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	42.5	33.1	●	
48	くろほねきん じ おうぎ 黒骨金地扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	46.0	34.3		●
49	しろほねきん じ おうぎ 白骨金地扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	45.4	33.0	●	
50	くろほねきん じ おうぎ 黒骨金地扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	45.2	35.8		●

	名称	時代		法量 (扇面幅・長さ、cm)		展示期間	
						10/6-10/28	10/30-11/25
51	しろほねきんじいろな おりぎ 白骨金地色無シ扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	48.0	33.2	●	
52	すみ え おりぎ 墨絵扇	江戸時代	18世紀～ 19世紀	50.5	34.3		●

能面

	名称	作者	時代		法量 (縦・横、cm)		展示期間	
							10/6-10/28	10/30-11/25
53	まごも こおとく 真薦小面	おおみややまと 大宮大和	江戸時代	17世紀	21.0	13.0	●	●
54	みかさやま 三笠山	でめとうすい 出目洞水	江戸時代	元禄12年 (1699)	21.1	13.7	●	●
55	ほうぞう 寶増		江戸時代 初期	17世紀	20.5	13.6	●	●
56	ほうしやく 宝曲	ほうらい 宝来	室町時代	16世紀	20.5	13.3	●	●
57	ろうおんな 勞女	こだまおうみ 児玉近江	江戸時代	17世紀	21.0	14.4	●	●
58	でいがん 泥眼	でめゆうかん 出目友閑	江戸時代	17世紀	21.3	13.7	●	●
59	じゅうろく 十六	でめほかん 出目甫閑	江戸時代	17世紀～ 18世紀	20.3	13.7	●	●
60	よろぼし 弱法師	でめほかん 出目甫閑	江戸時代	17世紀～ 18世紀	19.9	14.1	●	●
61	かんだんおとこ 邯鄲男		室町時代	16世紀	19.9	13.8	●	●
62	ぜかん こじょう 是閑小尉	かんさい 刊斎	江戸時代	宝永7年 (1710)	24.5	16.4	●	●
63	たか 鷹		室町時代	16世紀	20.0	16.1	●	●
64	ざるべし み 猿癡見		江戸時代	17世紀	19.7	15.2	●	●
65	あくじょうべし み 悪尉癡見		江戸時代	18世紀	24.7	16.2	●	●
66	らいでん 雷電	でめげんきゆう 出目元休	江戸時代	17世紀～ 18世紀前半	21.4	16.9	●	●
67	はんにや 般若	いぜきかわち 井関河内	江戸時代	17世紀	24.5	17.0	●	●

・名称の前に◎があるものは重要文化財です。

特別展

終わりのむこうへ：廃墟の美術史 Beyond the End: Ruins in Art History

会期＝平成30(2018)年12月8日(土)～平成31(2019)年1月31日(木)

会場＝2階サロンミュージーゼ、特別陳列室、地下1階主陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

美術史において重要な画題のひとつであった「廃墟」に焦点をあてた自主企画展。西洋美術史における17世紀頃からの廃墟主題の興隆の流れをたどり、近代日本へのその伝播、現代美術における廃墟的な風景のひろがりまでを展観した。今日の日本のいわゆる廃墟ブームの背景にあるこれら「廃墟の美術史」をふり返ることで、あらためて「なぜ人々は廃墟に惹きつけられてきたのか」を問いかけようと試みた。

西洋における廃墟の画家の代表格であるピラネージ、ユベール・ロベールから、画中に古代遺跡などをとりこんだシュールレアリスムのデルヴォーらの作品、江戸時代の亜欧堂田善、歌川豊春らの版画、日本における洋画の指導者フォンタネージ、百武兼行らの作品からモダニズムの影響を受けた難波田龍起、池田龍雄、今井憲一、大沢昌助らの作品、現代の麻田浩、大岩オスカル、野又穫、元田久治の作品まで、国内24か所の美術館・博物館・個人の借用先からの、42人の作家の73点の作品による構成とした。

『廃墟の美学』(2003年)の著者であり本展図録に冒頭エッセイも執筆して頂いた谷川渥氏による記念講演会、本展のポスター・イメージとなった作品や本展によせる新作2点を出品していただいた野又穫氏、同じく出展作家の元田久治氏によるアーティスト・トークなどの関連イベントを開催した。

これ以前に「廃墟」をテーマとした美術展は日本では類例がほとんどなく、予想外の反響があり、若年から壮年層までの多くの来館者を集めた。



出品目録

	作家名/artist	作品名/title	制作年/ date	材質・技法/ technique・material	所蔵/collection
I 章 絵になる廃墟:西洋美術における古典的な廃墟モチーフ / I. Ruins as a Classical Motif in Western Painting					
1	シャルル・コルネリス・ド・ホーホ Charles Cornelisz de Hooch	廃墟の風景と人物 <i>View of Ruins with Figures</i>	17世紀 17th century	油彩、板 oil on panel	東京富士美術館 Tokyo Fuji Art Museum
2	ユベール・ロバール Hubert Robert	ローマのパンテオンのある建築的奇想画 <i>Architectural Caprice with Roman Pantheon in the Background</i>	1763年 1763	ペン、水彩、紙 pen and watercolor on paper	ヤマザキマザック美術館 The Yamazaki Mazak Museum of Art
3	リチャード・ウィルソン Richard Wilson	キケロの別荘 <i>Cicero's Villa</i>	18世紀 18th century	油彩、カンヴァス oil on canvas	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
4	アシル=エトナ・ミシャロン Achille-Etna Michallon	廃墟となった墓を見つめる羊飼い <i>Roman Shepherds Contemplating the Ruins of a Tomb</i>	1816年 1816	油彩、カンヴァス oil on canvas	静岡県立美術館 Shizuoka Prefectural Museum of Art
5	アンリ・ルソー Henri Rousseau	廃墟のある風景 <i>Landscape with Ruins</i>	1906年頃 ca.1906	油彩、カンヴァス oil on canvas	ポーラ美術館 Pola Museum of Art
II章 奇想の遺跡、廃墟 / II. Amazing Ruins and Remains					
6	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ Giovanni Battista Piranesi	『ローマの古代遺跡』（第2巻II）より：古代アッピア街道とアルデアティーナ街道の交差点 < <i>The Antiquities of Rome (vol.2 II):Ancient Intersection of the Via Appiaand the Via Ardeatina</i> >	1756年刊 Published 1756	エッチング etching	町田市立国際版画美術館 Machida City Museum of Graphic Arts
7	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ Giovanni Battista Piranesi	『ローマの景観』より：シビラの神殿、ティヴォリ（背後から） < <i>The Views of Rome>:Temple of Sybil, Tivoli</i> >	1761年 1761	エッチング、エングレーヴィング etching and engraving	国立西洋美術館 The National Museum of Western Art, Tokyo
8	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ Giovanni Battista Piranesi	『ローマの景観』より：ティヴォリの通称マエケナス荘の内部 < <i>The Views of Rome>:The So-Called Villa of Maecenas at Tivoli.Interior. With Two Figures in the Opening of an Arch above.</i> >	1764年頃 ca.1764	エッチング、エングレーヴィング etching and engraving	国立西洋美術館 The National Museum of Western Art, Tokyo
9	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ Giovanni Battista Piranesi	『ローマの景観』より：通称ミネルヴァ・メディカ神殿 < <i>The Views of Rome>: The So-Called Temple of Minerva Medica</i> >	1764年頃 ca.1764	エッチング、エングレーヴィング etching and engraving	国立西洋美術館 The National Museum of Western Art, Tokyo
10	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ Giovanni Battista Piranesi	『ローマの景観』より：コロセウムの内部 < <i>The Views of Rome>: The Colosseum Interior</i> >	1766年頃 ca.1766	エッチング、エングレーヴィン etching and engraving	国立西洋美術館 The National Museum of Western Art, Tokyo

	作家名/artist	作品名/title	制作年/ date	材質・技法/ technique・material	所蔵/collection
11	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ Giovanni Battista Piranesi	『ローマの景観』より:通称セッテ・バッシ荘、入口の遺構 <The Views of Rome>:Entrance Door to Part of the Villa Called the Sette Bassi on the Road to Frascati	1766年頃 ca.1766	エッチング、 エングレーヴィング etching and engraving	国立西洋美術館 The National Museum of Western Art, Tokyo
12	ヨハネス・ライシャー、 アントニー・ワーテルロー Johannes Ruischer/ Antonie Waterloo	古城 Old Castle	1660年以前 before 1660	エッチング etching	静岡県立美術館 Shizuoka Prefectural Museum of Art
13	ジョン・コンスタブル John Constable	ハドリー城 Hadleigh Castle	1830-32年 1830-32	メゾチント mezzotint	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
14	ジョン・コンスタブル John Constable	ストーンヘンジ Stonehenge	1843-44年頃 ca.1843-44	メゾチント mezzotint	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
15	トマス・ガーティン Thomas Girtin	エア川沿いのカークストール修道院 Kirkstall Abbey on the River Aire	1824年 1824	メゾチント mezzotint	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
16	トマス・ガーティン Thomas Girtin	ウォーフ川沿いのボルトン修道院 Bolton Abbey on the River Wharfe	1825年 1825	メゾチント mezzotint	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
17	ジョン・セル・ コットマン John Sell Cotman	ビーストン小修道院、 ノーフォーク Beeston Priory, Norfolk	1810年 1810	エッチング etching	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
18	ジョン・セル・ コットマン John Sell Cotman	ハウデン共住聖職者教会の東端、 ヨークシャー East End of Howden Collegiate Church, Yorkshire		エッチング etching	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
19	ジョン・セル・ コットマン John Sell Cotman	城門と城壁の廃墟、ライジング城 の城郭、ノーフォーク Ruins of the Gate and Ramparts, Castle Rising, Norfolk	1817年 1817	エッチング etching	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
20	ジョン・セル・ コットマン John Sell Cotman	セント・ソヴァー・ル・ヴィコン ト大寺院 Abbey Church of St Sauveur le Vicomte		エッチング etching	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
21	ジョン・セル・ コットマン John Sell Cotman	エイカー城小修道院 Castle Acre Priory		エッチング etching	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
22	ジョン・リネル John Linnell	修道院の廃墟 Abbey Ruins	1818年 1818	エッチング etching	郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art
23	ウジェーヌ・イザベイ Louis Gabriel Eugène Isabey	《古きフランスのピトレスクでロマン ティックな旅》より オーヴェルニュ I, II:「サン＝ネクテルの教会堂」 <Picturesque and Romantic Journeys in Old France> (Auvergne I,II):Church of Saint Nectaire	1830-32年 1830-32	チャイナ紙、 リトグラフ lithograph on China paper	静岡県立美術館 Shizuoka Prefectural Museum of Art

	作家名/artist	作品名/title	制作年/ date	材質・技法/ technique・material	所蔵/collection	
24	ウジェーヌ・イザベイ	《古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅》より オーヴェルニュ I、II:「廃墟の城とサン＝ネクターの村」	1830-32年	チャイナ紙、リトグラフ	静岡県立美術館	
	Louis Gabriel Eugène Isabey	<Picturesque and Romantic Journeys in Old France> (Auvergne I,II):General View of Castle Ruins and of The Village of Saint-Necataire	1830-32	lithograph on China paper	Shizuoka Prefectural Museum of Art	
25	ウジェーヌ・イザベイ	《古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅》より オーヴェルニュ I、II:「ブゾール城と廃墟」	1830-32年	チャイナ紙、リトグラフ	静岡県立美術館	
	Louis Gabriel Eugène Isabey	<Picturesque and Romantic Journeys in Old France> (Auvergne I,II):The Bouzols Castle Ruins near Puy en Delay	1830-32	lithograph on China paper	Shizuoka Prefectural Museum of Art	
26	ウジェーヌ・イザベイ	《古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅》より オーヴェルニュ I、II:「ポリニャックの城楼」	1830-32年	チャイナ紙、リトグラフ	静岡県立美術館	
	Louis Gabriel Eugène Isabey	<Picturesque and Romantic Journeys in Old France> (Auvergne I,II):Dungeon of the Polignac Castle	1830-32	lithograph on China paper	Shizuoka Prefectural Museum of Art	
27	ウジェーヌ・イザベイ	《古きフランスのピトレスクでロマンティックな旅》より オーヴェルニュ I、II:「ラルデロール城」	1830-32年	チャイナ紙、リトグラフ	静岡県立美術館	
	Louis Gabriel Eugène Isabey	<Picturesque and Romantic Journeys in Old France> (Auvergne I,II):Larderole Castle	1830-32	lithograph on China paper	Shizuoka Prefectural Museum of Art	
III章 廃墟に出会った日本の画家たち：近世と近代の日本の美術と廃墟主題 / III. Ruins as a Subject of Early Modern and Modern Japanese Art						
28	亜欧堂田善	独逸国廓門図	1809 (文化6)年	紙本銅版筆彩	東京国立博物館	
	Aodo Denzen	<i>The Enclosure in Zerumania</i>	1809	copperplate on paper	Tokyo National Museum	
29	伝 歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図	文化期 (1804-18)頃	版元西村屋与八、紙本色摺、大判錦絵	町田市立国際版画美術館	★
	Attributed to Utagawa Toyoharu	<i>Perspective Picture of Holland (Ruins of Ancient Rome)</i>	ca. 1804-18	polychrome print; oban	Machida City Museum of Graphic Arts	
30	伝 歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図	文化-文政期 (1804-30)頃	版元山本屋平吉、紙本色摺、大判錦絵	町田市立国際版画美術館	☆
	Attributed to Utagawa Toyoharu	<i>Perspective Picture of Holland (Ruins of Ancient Rome)</i>	ca. 1804-30	polychrome print; oban	Machida City Museum of Graphic Arts	
31	歌川豊春	浮繪アルマニヤ珍藥物集之圖	江戸時代・18世紀	紙本色摺、大判錦絵	東京国立博物館	★
	Utagawa Toyoharu	<i>Collection of Rare Medicines of Alemania</i>	Edo period (18th century)	polychrome print; oban	Tokyo National Museum	
32	小野竹喬	素描、ローマ廃墟	1922 (大正11)年	水彩、紙	京都市美術館	
	Ono Chikkyo	<i>Ruins in Rome, Drawing</i>	1922	watercolor on paper	Kyoto Municipal Museum of Art	
33	澤部清五郎	群羊図(伊太利アッシジ附近)	1931 (昭和6)年	コンテ、膠彩、絹布、軸装	星野画廊	
	Sawabe Seigoro	<i>A Group of Sheep (at Assisi, Italy)</i>	1931	conté and color on silk	Hoshino Gallery	
34	不染鉄	廃船	1969 (昭和44)年頃	紙本着色	京都国立近代美術館	
	Fusen Tetsu	<i>Deserted Ship</i>	ca.1969	color on paper	The National Museum of Modern Art, Kyoto	

	作家名/artist	作品名/title	制作年/ date	材質・技法/ technique・material	所蔵/collection	
35	アントニオ・ フォンタネージ Antonio Fontanesi	デッサン:廃址 <i>Drawing: Desolate Remains</i>	1876-78 (明治9-11) 年 1876-78	鉛筆、コンテ、紙 pencil and conté on paper	東京国立博物館 Tokyo National Museum	
36	アントニオ・ フォンタネージ Antonio Fontanesi	デッサン:羅馬水道址 <i>Drawing: Remains of a Roman Aqueduct</i>	1876-78 (明治9-11) 年 1876-78	鉛筆、コンテ、紙 pencil and conté on paper	東京国立博物館 Tokyo National Museum	
37	工部美術学校生徒 Artist unknown (Student at the Kobu Art School)	風景 <i>Landscape (Desolate Remains)</i>	1877-78 (明治10- 11)年頃 ca.1877-78	鉛筆、白チョーク、 紙 pencil and chalk on paper	東京藝術大学 Tokyo University of the Arts	★
38	工部美術学校生徒 Artist unknown (Student at the Kobu Art School)	風景 <i>Landscape(Remains of a Roman Aqueduct)</i>	1877-78 (明治10- 11)年頃 ca.1877-78	鉛筆、紙 pencil on paper	東京藝術大学 Tokyo University of the Arts	☆
39	百武兼行 Hyakutake Kaneyuki	バーナード城 <i>Barnard Castle</i>	1878 (明治11)年 1878	油彩、カンヴァス oil on canvas	宮内庁三の丸尚蔵館 Museum of the Imperial Collections	
40	松岡壽 Matsuoka Hisashi	凱旋門 <i>The Arch of Constantine in Rome</i>	1882 (明治15)年 1882	油彩、板 oil on panel	東京藝術大学 Tokyo University of the Arts	
41	藤島武二 Fujishima Takeji	ポンペイの廃墟 <i>Ruins of Pompeii</i>	1908 (明治41)年 頃 ca.1908	油彩、板 oil on panel	茨城県近代美術館 The Museum of Modern Art, Ibaraki	
42	山口薫 Yamaguchi Kaoru	古羅馬の旅 <i>Travel to Ancient Rome</i>	1937 (昭和12)年 1937	油彩、カンヴァス oil on canvas	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo	
43	難波田龍起 Nambata Tatsuoki	廃墟(最後の審判より) <i>Ruins (from The Last Judgement)</i>	1942 (昭和17)年 1942	油彩、カンヴァス oil on canvas	東京オペラシティ アートギャラリー Tokyo Opera City Art Gallery	
44	矢橋六郎 Yabashi Rokuro	廃墟 <i>Ruins</i>	1937 (昭和12)年 1937	油彩、カンヴァス oil on canvas	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo	
45	岡鹿之助 Oka Shikanosuke	廃墟 <i>Ruins</i>	1962 (昭和37)年 1962	油彩、カンヴァス oil on canvas	三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum	

IV章 シュルレアリスムのなかの廃墟 / IV. Ruins in Surrealism

46	ポール・デルヴォー Paul Delvaux	海は近い <i>The Sea is Nearby / La Mer est proche</i>	1965年 1965	油彩、カンヴァス oil on canvas	姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art	
----	---------------------------	--	---------------	---------------------------	---	--

	作家名/artist	作品名/title	制作年/ date	材質・技法/ technique・material	所蔵/collection	
47	ポール・デルヴォー Paul Delvaux	水のニンフ(セイレン) <i>Water Nymphs (The Sirenes) / Les Sirènes</i>	1937年 1937	油彩、カンヴァス oil on canvas	姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art	
48	ポール・デルヴォー Paul Delvaux	円天井 <i>The Vault / La Voûte</i>	1973年 1973	リトグラフ lithograph	姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art	
49	ポール・デルヴォー Paul Delvaux	女帝 <i>The Empress / L'Impératrice</i>	1974年 1974	リトグラフ lithograph	姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art	
50	ポール・デルヴォー Paul Delvaux	見者 <i>The Clairvoyant / La Clairvoyante</i>	1974年 1974	リトグラフ lithograph	姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art	
51	ポール・デルヴォー Paul Delvaux	パイオリーフ <i>Paiolive / Paiolive</i>	1975年 1975	リトグラフ lithograph	姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art	
52	ルネ・マグリット René Magritte	青春の泉 <i>Fountain of Juvenescence</i>	1957-58年 1957-58	油彩、カンヴァス oil on canvas	横浜美術館 Yokohama Museum of Art	
53	ジョルジオ・デ・ キリコ(工房) Giorgio de Chirico (workshop)	吟遊詩人 <i>Trovatore</i>	制作年不詳 n.d.	油彩、カンヴァス oil on canvas	横浜美術館 (坂田武雄氏寄贈) Yokohama Museum of Art (Donated by Mr. Sakata Takeo)	
V章 幻想のなかの廃墟:昭和期の日本における廃墟的世界 / V. The World of Visionary Ruins in Showa Japan						
54	伊藤久三郎 Ito Kyuzaburo	流れの部分 <i>Part of the Flow</i>	1933 (昭和8)年 1933	油彩、カンヴァス oil on canvas	京都市美術館 Kyoto Municipal Museum of Art	
55	伊藤久三郎 Ito Kyuzaburo	硝子の星 <i>Glass Stars</i>	1938 (昭和13)年 1938	油彩、カンヴァス oil on canvas	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo	
56	北脇昇 Kitawaki Noboru	章表 <i>Symbol</i>	1937 (昭和12)年 1937	油彩、カンヴァス oil on canvas	京都市美術館 Kyoto Municipal Museum of Art	
57	浜田浜雄 Hamada Hamao	ユパス <i>Upas</i>	1939 (昭和14)年 1939	油彩、カンヴァス oil on canvas	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo	
58	中尾彰 Nakao Sho	残塁 <i>Fortress Ruins</i>	制作年不詳 n.d.	油彩、カンヴァス oil on canvas	練馬区立美術館 Nerima Art Museum	
59	樽松正利 Kurematsu Masatoshi	夢 <i>Dream</i>	1940 (昭和15)年 1940	油彩、カンヴァス oil on canvas	練馬区立美術館 Nerima Art Museum	
60	池田龍雄 Ikeda Tatsuo	空中楼閣 <i>Castle in the Air</i>	1952 (昭和27)年 1952	インク、水彩、紙 ink and watercolor on paper	練馬区立美術館 Nerima Art Museum	★
61	今井憲一 Imai Ken'ichi	バベルの幻想 <i>Illusion of Babel</i>	1955 (昭和30)年 1955	油彩、カンヴァス oil on canvas	京都市美術館 Kyoto Municipal Museum of Art	

	作家名/artist	作品名/title	制作年/ date	材質・技法/ technique・material	所蔵/collection
62	大沢昌助	真昼	1950 (昭和25)年	油彩、カンヴァス	練馬区立美術館
	Osawa Shosuke	Noon	1950	oil on canvas	Nerima Art Museum
VI章 遠い未来を夢見て：いつかの日を描き出す現代画家たち / VI. Dreams of the Distant Future: Contemporary Artists Envision What Lies Ahead					
63	麻田浩	旅・卓上	1992 (平成4)年	油彩、カンヴァス	京都国立近代美術館
	Asada Hiroshi	Journey-Tabletop	1992	oil on canvas	The National Museum of Modern Art, Kyoto
64	大岩オスカル	トンネルの向こうの光	1997 (平成9)年	油彩、カンヴァス	福島県立美術館
	Oscar Oiwa	Light in Final of Tunnel	1997	oil on canvas	Fukushima Prefectural Museum of Art
65	大岩オスカル	動物園	1997 (平成9)年	油彩、カンヴァス	東京都現代美術館 寄託
	Oscar Oiwa	Zoo	1997	oil on canvas	Deposit : Museum of Contemporary Art Tokyo
66	元田久治	<i>Indication: Shibuya Center Town</i>	2005 (平成17)年	リトグラフ	作家蔵
	Motoda Hisaharu		2005	lithograph	Collection of the artist
67	元田久治	<i>Foresight: Shibuya Center Town</i>	2017 (平成29)年	リトグラフ	作家蔵
	Motoda Hisaharu		2017	lithograph	Collection of the artist
68	元田久治	<i>Indication: Diet Building, Tokyo 3</i>	2008 (平成20)年	ミクストメディア、 カンヴァス	作家蔵
	Motoda Hisaharu		2008	mixed media on canvas	Collection of the artist
69	元田久治	<i>Foresight: Tokyo Station 3</i>	2011 (平成23)年	油彩、カンヴァス	作家蔵
	Motoda Hisaharu		2011	oil on canvas	Collection of the artist
70	野又穂	波の花	2013 (平成25)年	アクリル、 カンヴァス	作家蔵
	Nomata Minoru	Bubble Flowers	2013	acrylic on canvas	Collection of the artist
71	野又穂	交差点で待つ間に	2013 (平成25)年	アクリル、 カンヴァス	作家蔵
	Nomata Minoru	Listen to the Tales	2013	acrylic on canvas	Collection of the artist
72	野又穂	イマジン-1	2018 (平成30)年	アクリル、 カンヴァス	作家蔵
	Nomata Minoru	Imagine-1	2018	acrylic on canvas	Collection of the artist
73	野又穂	イマジン-2	2018 (平成30)年	アクリル、 カンヴァス	作家蔵
	Nomata Minoru (1955 -)	Imagine-2	2018	acrylic on canvas	Collection of the artist

[凡例]

1. 作品番号、作家名、作品名、時代(制作年)、材質・技法、所蔵の順に日本語と英語で表記。

2. ★は前期展示12/8～1/6 ☆は後期展示1/8～1/31。

2019 松濤美術館公募展

会期＝平成31(2019)年2月10日(日)～24日(日)

会場＝地下1階主陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

松濤美術館公募展は、渋谷区に在住、在勤および在学の方々の創作活動の活性化を目的として開館当初から始められたもので、今回で36回目を迎えた。毎回多くのご応募をいただき、作品発表の場として着実に定着してきた。

本年から、会場で展示作品の撮影およびSNSでの発信を条件付きで出来るようにしたため、公募展の内容をより広く、大勢の方に知って頂ける契機となった。

応募作品は、3名の審査委員により厳正な審査を行い、その中から下記の通り選出し入選作品とした。これらの入選作品は全て展覧会に出陳された。そのうち下記の通り14点の受賞作品が選ばれ、贈呈式にて表彰された。また、本年は審査委員が1名改選された。

審査状況

応募作品総数 152点

入選作品総数 75点

審査委員

猿渡 紀代子(審査委員長・美術史家)

笠井 誠一(画家)

田淵 俊夫(日本画家)

[学生優秀賞]

越川京香 《上り坂》

[奨励賞]

酒井七美 《平成最後の秋、渋谷》

小川和子 《インディアン、サマー》

張巧君 《Goodnight Moon》

田中昭雄 《凍てつく森》

揚石すみ江 《ひたむきに》

遠藤和彦 《Architecture》

松井裕典 《共存》

成清一生 《立ち塞がる壁》

阿部香 《遠い潮騒》

栗田弘子 《瑞々しく生きる》

[松濤美術館賞]

山梨宣人 《輝く》

[優秀賞]

吉田珠子 《ラプソディー》

長谷川きみ子 《デビューする日》



松濤美術館賞
山梨宣人《輝く》



サロン展

南 薫造展

Kunzo Minami

会期＝平成31(2019)年2月10日(日)～3月17日(日)

会場＝2階サロンミュージーゼ

主催＝渋谷区立松濤美術館

南 薫造(1883/明治16年－1950/昭和25)は、広島県賀茂郡内海町(現・呉市安浦町)に生まれた。1902年に東京美術学校(現・東京藝術大学)に入学し、西洋画を学ぶ。卒業後はイギリスへの留学や、フランスなどヨーロッパ諸国を周遊しながら研鑽を積んだ。

帰国後は、1910年に第4回文展において《坐せる女》(広島県立美術館)が三等を受賞したのを皮切りに同展への出品を続け、受賞を重ねる。以降は、長年にわたって官展での審査委員を務めたほか、水彩学会創立に関わるなど、近代日本洋画壇を代表する画家の一人として精力的な活動を重ねた。

本展では、渋谷区立松濤美術館に新たにご寄贈いただいた南 薫造作品のうち、46点および参考作品1点を通して、彼の画業の変遷を辿った。構成は3章に分けられ、第1章では東京美術学校に入学した年に描かれた初期作品から、滞欧時代に制作された水彩画と油彩画を展示した。続いて第2章では、南がアジアの国々を訪れ制作した作品を紹介した。インドや韓国、中国、台湾での写生作品を展示することで、南が異国の地で目にした風景や、それらへの感銘を鑑賞者も共有することができるよう意識した。そして最後の第3章では、第二次世界大戦の戦火を逃れるため、1944年に郷里に疎開した南が、逝去するまでの約5年間のうちに描いた、広島の風景画を中心に展示し、展覧会を締めくくった。

会期中には2回のギャラリートークを開催したほか、当館所蔵の南 薫造作品全点を収録した作品目録を販売した。



出品目録

	作品名	制作年	技法、材質	サイズ	所蔵	展示期間	
						2/10- 2/24	3/2- 3/17
I章 滞欧時代							
参考 作品	海景	1902年	水彩、紙	19.0×25.0cm	個人蔵	●	●
1	夕暮れの森	1904年	水彩、紙	10.0×31.1cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
2	ロンドンの屋根	1907年頃	水彩、紙	31.0×24.3cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
3	スタジオにて	1907年頃	水彩、紙	25.2×35.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
4	馬場	1908年	水彩、紙	25.2×35.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
5	橋	1909年頃	水彩、紙	23.5×32.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
6	秋	1909年	水彩、紙	32.5×23.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
7	風の中の少女	1907-10年	水彩、紙	35.2×25.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
8	草原に立つ少女たち	1907-10年	水彩、紙	25.0×35.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
9	海の夕景	1907-10年	水彩、紙	25.0×34.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
10	ゴンドラ	1909年	水彩、紙	23.8×33.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
11	岸辺の舟	1907-10年	水彩、紙	51.0×35.3cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
12	小舟	1907-10年	水彩、紙	23.5×32.6cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
13	西洋女性	1909年	油彩、カンヴァス	61.0×73.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
14	吊るされた雉		油彩、カンヴァス	52.0×45.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
15	市街		油彩、板	15.0×21.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
16	アーチ橋		油彩、カンヴァス	45.5×60.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
II章 南が見たアジア							
17	印度アグラ市チニカロジャ	1916年	水彩、紙	24.2×33.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
18	印度の男	1916年	水彩、紙	33.1×24.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
19	荷を運ぶ男	1916年頃	水彩、紙	35.3×25.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
20	ブッダガヤ	1916年	木炭、紙	21.0×28.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
21	農村風景	1916年	色鉛筆、紙	17.6×25.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
22	丘の上の家	1916年	色鉛筆、紙	17.5×25.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
23	屋根の連なり	1916年	色鉛筆、紙	17.6×25.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
24	朝鮮風景		油彩、板	33.0×41.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
25	旧万物相より観音峯を望む	1942年頃	水彩、紙	24.1×32.6cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
26	朝鮮の寺と山		水彩、紙	32.5×48.1cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
27	淡水にて	1930年	水彩、紙	33.0×49.4cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
28	台湾風景	1930年頃	水彩、紙	32.5×48.8cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
29	子供	1939年頃	水彩、紙	32.2×24.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
30	中国風景	1939年頃	水彩・木炭、紙	34.5×25.7cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
31	杭州西湖 白堤遠望	1939年	水彩、紙	24.0×32.9cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
III章 瀬戸内での晩年							
32	香川県引田水谷旅館より	1947年	水彩、紙	28.7×39.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
33	俵山-うどん屋の婆さんの家	1949年	水彩、紙	28.0×37.7cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
34	俵山-温泉町ノ一角	1949年	水彩、紙	34.7×25.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
35	夕日と舟	1949年	油彩、板	24.0×33.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
36	月		油彩、板	37.5×45.5cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
37	朝もやの瀬戸内		油彩、板	24.0×32.8cm	渋谷区立松濤美術館	●	
38	海に沈む夕日		油彩、板	23.0×33.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	
39	夕景		油彩、板	23.5×32.8cm	渋谷区立松濤美術館	●	
40	夕景	1947年	油彩、板	23.8×33.0cm	渋谷区立松濤美術館	●	
41	海の夕陽		油彩、板	23.5×33.0 cm	渋谷区立松濤美術館		●
42	海の夕景		油彩、板	23.5×32.5cm	渋谷区立松濤美術館		●
43	夕日		油彩、板	23.5×32.5cm	渋谷区立松濤美術館		●
44	月夜		油彩、板	24.2×33.0cm	渋谷区立松濤美術館		●
45	生家の近く		油彩、カンヴァス	50.0×60.8cm	渋谷区立松濤美術館	●	●
46	瀬戸内	1949年頃	油彩、カンヴァス	45.5×53.2cm	渋谷区立松濤美術館	●	●

サロン展 山口草四朗展

会期＝2019年2月10日(日)～2月24日(日)、3月2日(土)～3月17日(日)

会場＝2階特別陳列室

主催＝渋谷区立松濤美術館

佐賀県鹿島市に生まれた山口草四朗(大正13/1924～平成17/2005)は、昭和22(1947)年に一水会展に初入選以降、同会への幾多の出品や日展での入選など洋画家としての画歴を重ねた。また、昭和27(1952)年に銀座和光から肖像画制作を受託してからは、さらに肖像画家としても知られるようになった。渋谷の地を好み足繁く訪れた洋画家、山口草四朗の油彩画12点で構成する展覧会をゆかりの地で開催した。



出品目録

No.	作品名	材質・技法	作品寸法(cm)	制作年
1	ガボンの女	油彩・カンヴァス	33.5×24.5	*
2	面浮立(めんぶりゅう)	油彩・カンヴァス	91.0×73.0	*
3	ポーレンダムの女	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	*
4	ばら	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	1980～90年頃
5	静物	油彩・カンヴァス	35.5×45.7	*
6	アムステルダム	油彩・カンヴァス	45.5×53.0	1998年
7	ブルターニュの港	油彩・カンヴァス	41.0×53.0	*
8	ベネチア	水彩・紙	42.5×76.5	*
9	ホルンの港	油彩・カンヴァス	45.5×38.0	*
10	オンフルール(フランス)	油彩・カンヴァス	65.2×50.0	1986年頃か
11	ロコンダの丘	油彩・カンヴァス	65.2×53.0	*
12	サントロッベ	油彩・カンヴァス	45.5×38.0	*

註1:作品は全て個人蔵

註2: * は制作年不明

第37回渋谷区小中学生絵画展

会期＝平成31(2019)年3月2日(土)～10日(日)

会場＝地下1階主陳列室

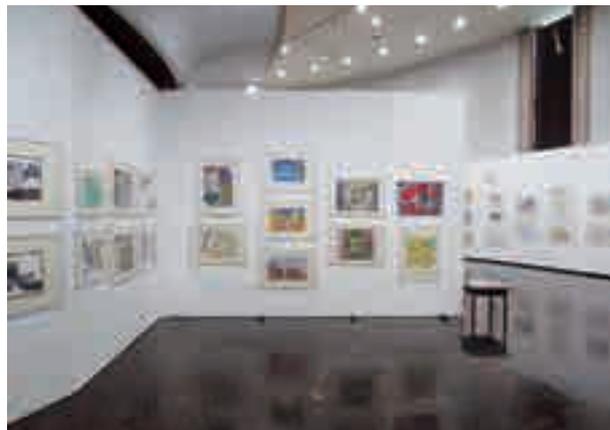
主催＝渋谷区立松濤美術館

本展では、渋谷区内の19校の小学校、10校の中学校の児童生徒が、授業などで制作した中から選ばれ、出品された189点の絵画作品を展示した。クレヨン、水彩、油彩、版画などのさまざまな方法で描かれた絵は、いずれも子どもたち各々の個性が表れ、素直な感動や驚き、表現することの喜びを感じさせる力作であった。小学校から150点、中学校か39点、総計189点の出品があった。

この中から11点の優秀作品を選出し、うち1点を図録の表紙、1点をポスター掲載作とし、またチラシ表面に1点、裏面に6点を掲載した。このほか2点をそれぞれしぶや区ニュース、CITY NEWSの3月1日号に掲載した。



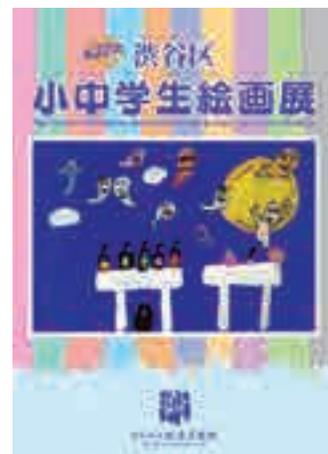
ポスター



チラシ表



チラシ裏



図録

Ⅲ 出版

平成30 (2018) 年度



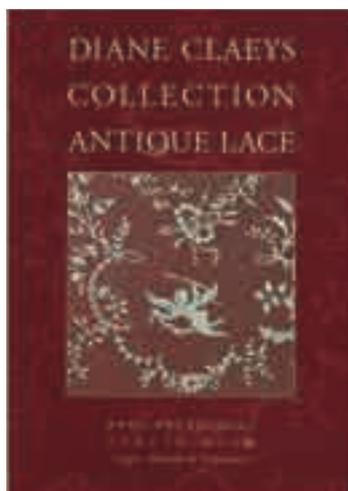
《カタログ》

特別展「チャペック兄弟と子どもの世界～ 20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト」

24.0×18.8cm

全160p、カラー図版112p

- ・パヴラ・パチンコヴァー「子どもたちはいつも遊んでいる」
- ・ヨゼフ・チャペック「丘への道のり」
- ・カレル・チャペック「おとぎ話の理論(一部訳)」
- ・略年譜
- ・平泉千枝「チャペック作『人造人間(ロボット)』の舞台を記録した写真家一坂本万七」
- ・清水緑「ダーシェンカ、犬の魅力」
- ・作品一覧
- ・書籍・資料一覧
- ・文献



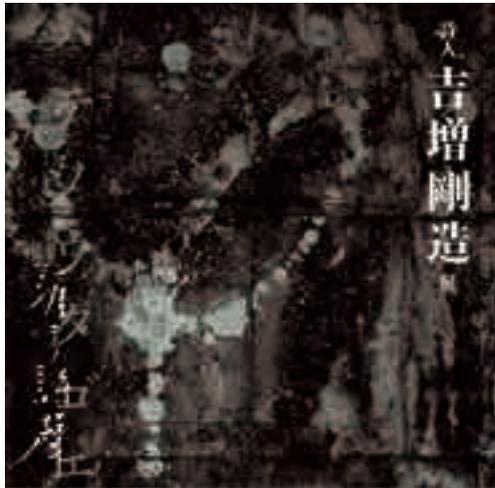
《カタログ》

特別展「ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース」

25.7×18.2cm

全96p、カラー図版64p

- ・ダイアン・クライス「レースは私の人生そのもの」
- ・百々徹「21世紀におけるアンティーク・レース展にむけて」



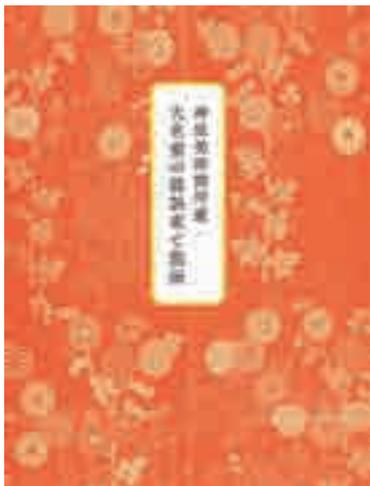
《カタログ》

特別展「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」

20.5cm×20.7cm

全314p、カラー図版203p

- ・鶴岡真弓「『螺旋歌』の『生命循環』－『ケルト渦巻文様』から『イエイツのガイヤー』へ」
- ・今福龍太「罌の訪ひ」
- ・江尻潔「怪物の痛みを痛む者」
- ・小林康夫「追走、・Inochiの地形－剛造さんの地形－剛造さんの『歩行』の原風景をたずねて」
- ・稲川方人「セングシの蜃気楼のなかで 吉増剛造小論」
- ・川島健二「重ねる旅、下りて行く旅」
- ・篠原誠司「詩人・吉増剛造の旅、声、手」
- ・平塚泰三「吉増剛造、凍雲篩雪図に臥遊す」
- ・滝口悠生「宙空、見る」
- ・菊井崇史「吉増剛造とフランツ・カフカ 『石狩シーツ』から『火ノ刺繍』へ」
- ・吉増剛造年譜
- ・作家略歴
- ・作品目録



《カタログ》

特別展「林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面」

27.0×19.8cm

全128p、図版91p

- ・谷一尚「林原美術館の沿革と主な収蔵品」
- ・長崎巖「能装束の歴史と林原美術館所蔵・備前池田家伝来の能装束」
- ・田邊三郎助「池田家伝来の能面」
- ・資料
- ・主要参考文献
- ・出品リスト



《カタログ》

特別展「終わりのむこうへ：廃墟の美術史」

25.7cm×18.5cm

全144p、カラー図版96p

- ・谷川渥「廃墟の美学－表象の歴史を眼差す」
- ・平泉千枝「日本に廃墟画はあったか－江戸時代から現代まで－」
- ・作家・作品解説
- ・主要参考文献
- ・作品リスト



《カタログ》

サロン展「渋谷区立松濤美術館蔵 南 薫造 作品目録」

25.7cm×18.5cm

全64p、カラー図版48p

- ・西美弥子「子供の眼を持つ画家－南 薫造の自然へのまなざし」
- ・南 薫造略歴
- ・所蔵作品リスト

IV 教育普及

1. 講演会

各企画展ではほぼ1回、展覧内容に関連した講演会を開催している。専門家による企画展出品作品の歴史的背景や芸術上の展望などが語られ、参加者からの質問も活発である。

平成30(2018)年度実績

期日	テーマ	講師(経歴は当時のもの)	参加者
4月8日(日) 午後2時から	チャペック兄弟の作品について	パヴラ・ペチンコヴァー (本展監修者、元プラハ工芸美術大学教授、チャペック研究者)	80人
6月17日(日) 午後2時から	レースは、私の人生そのもの ～ Lace in My Life	ダイアン・クライス (本展監修者、アンティーク・レースコレクター、鑑定家)	160人
6月30日(土) 午後2時から	21世紀における アンティーク・レースの魅力	百々徹 (本展監修者、大阪成蹊短期大学教授)	110人
9月8日(土) 午後2時から	記念対談: 吉増剛造氏(詩人)×岡野弘彦氏(歌人)対談	吉増剛造(詩人)、岡野弘彦(歌人)	120人
10月14日(日) 午後2時から	大名家と能装束 ー文化的視点からー	長崎巖 (本展監修者、共立女子大学博物館館長・家政学部教授)	67人
10月21日(日) 午後2時から	池田家伝来の能面	田邊三郎助(町田市立博物館館長)	47人
12月8日(土) 午後2時から	廃墟の美学	谷川渥(美学者)	92人

2. 美術教室

区内在住、在勤、在学者を対象に絵画等の基本を一通り学びたい人のために開講している。

平成30(2018)年度実績

教室	講師	期間・回数	曜日・時間	参加者 (応募者)
バステル教室	一の瀬洋	6月22日～7月20日・5回	金曜日・午後2時～4時	23人(23)
油絵教室	原良介	6月28日～7月26日・5回	金曜日・午後2時～4時	13人(14)
小中学生の工作教室	堀江武史	8月16日、17日・2回	木、金曜日・午後2時～4時	14人(16)
水彩画教室A	奈良峰博	10月18日～11月15日・5回	木曜日・午後2時～4時	27人(29)
水彩画教室B	武政朋子	10月19日～11月16日・5回	金曜日・午後6時～8時	17人(18)

3. コンサート

平成30(2018)年度実績

実施日	コンサート名	出演者	演奏曲	参加 人数
5月13日(日) 午後2時～3時	ヴァイオリンとピアノによるチェコのクラシック音楽	新山開(ヴァイオリン) 新山茜(ピアノ)	L.ヤナーチェク「ヴァイオリン・ソナタ JW vii//7」 A.ドヴォルザーク「F.クライスラー:ユーモレスク」ほか	79人
9月1日(土) 午後2時～3時	吉増剛造氏(詩人)&大友良英氏(ギタリスト)によるコラボレーション	吉増剛造(詩人) 大友良英(ギタリスト)	即興演奏	101人
11月10日(土) 午後2時～3時	観世流の謡	観世流能楽師 上田公威	謡「高砂」ほか	66人
12月9日(日) 午後2時～3時	ミュージアムコンサート 木管三重奏 トリオいろいろ	石神智子(オーボエ) 飯田真弓(クラリネット) 垣内紀子(ファゴット)	F.ショパン「ノクターン 作品9-2」 ほか	74人

4. ギャラリートーク

平成30(2018)年度実績

実施日	展覧会名	参加者
4月22日(日)	チャベック兄弟と子どもの世界 ～ 20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト	18人
5月12日(土)	〃	30人
5月18日(金)	〃	43人
6月22日(金)	ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展	52人
7月7日(土)	〃	48人
8月25日(土)	涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展	16人
8月31日(金)	〃	11人
9月16日(日)	〃	30人
10月27日(土)	林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面	7人
11月2日(金)	〃	20人
11月11日(日)	〃	27人
12月14日(金)	終わりのむこうへ：廃墟の美術史	29人
12月22日(土)	〃	30人
1月6日(日)	〃	62人
2月17日(日)	南 薫造展 山口草四朗展	12人
2月23日(土)	〃	14人
3月3日(日)	〃	4人
3月9日(土)	〃	15人

5. 美術館見学会&ワークショップ

平成30(2018)年度実績

実施日	題名	講師	内容	参加者
8月21日(火)午後2時から	吉増剛造展 親子見学会&わーくしょっぷ	当館学芸員	グリーティングカード作り	4人
8月22日(水)午後2時から	〃	〃	〃	8人

6. 展覧会関連イベント

平成30(2018)年度実績

実施日	イベント名	出演者	参加者
4月15日(日) 午後2時～	映画上映会「20世紀前半の チェコのアニメーション」	『二人の少年と一匹の犬が走り回るのを見てごらん』(1925年 7分)、『フィリックス・ザ・キャット; 海の上の水兵さん』(1929年 8分)、『子どもたち』(1935年 6分)、『ユビキタスクンの冒険』(1936年 8分)、『ルツェルナ宮の秘密』(1936年 2分)、『失敗作のニワトリ』(1963年 13分)	47人
5月6日(日) 午後2時～			81人
4月28日(土) 午前11時～、 午後1時～	子犬の切り紙でモバイルづくり	当館学芸員	40人
5月3日(木・祝) 午後11時～			18人
5月5日(土・祝) 午後11時～			18人
7月8日(日) 午後2時～	レースのピルケース作り	阿部薫(princess lace作家)	26人
7月16日(月・祝) 午後2時～	担当学芸員によるミニ講座	大平奈緒子(当館学芸員)	85人
8月21日(火) 午後2時～	夏休み親子見学会&わーく しょっぷ「吉増」展の解説及び 見学、グリーティングカード 作り	当館学芸員	4人
8月22日(水) 午後2時～			8人
8月26日(日) 午後2時～	ワークショップ「声の力」	吉増剛造(詩人)、山根基世(フリーアナウンサー)	53人
9月2日(日) 午後4時30分～	作家本人によるギャラリートーク	吉増剛造(詩人)	15人
9月9日(日) 午後4時30分～			36人
9月24日(月・祝) 午後4時30分～			90人
10月28日(日) 午前11時～	紋切りあそび	当館学芸員	18人
11月1日(木) 午前11時～			12人
1月12日(土) 午後3時～	土曜午後3時のアーティスト・ トーク「遠い未来はいつか遠い過去になる」	元田久治(本展出品作家、武蔵野美術大学准教授)	70人
1月19日(土) 午後3時～	土曜午後3時のアーティスト・ トーク「イマジン Imagine」	野又稷(本展出品作家、女子美術大学教授)	95人
1月26日(土) 午後14時～	特別講座「渋谷と廃墟」	平泉千枝(当館学芸員)	91人

7. 建築ツアー

白井晟一設計の当館内を建築に関する説明を聞きながら見学して頂きます。

平成30(2018)年度実績

実施日:時間は各日午後6時~6時40分頃	参加者
4月13日(金)	5名
4月20日(金)	4名
4月27日(金)	7名
5月 4日(金・祝)	24名
5月11日(金)	12名
5月18日(金)	10名
5月25日(金)	24名
6月15日(金)	10名
6月22日(金)	8名
6月29日(金)	8名
7月 6日(金)	13名
7月13日(金)	34名
7月20日(金)	31名
7月27日(金)	42名
8月17日(金)	12名
8月24日(金)	7名
8月31日(金)	2名
9月 7日(金)	7名
9月14日(金)	4名
9月21日(金)	4名
10月12日(金)	5名
10月19日(金)	4名
10月26日(金)	4名
11月 2日(金)	8名
11月 9日(金)	1名
11月16日(金)	19名
11月23日(金・祝)	23名
12月14日(金)	10名
12月21日(金)	18名
12月28日(金)	25名
1月 4日(金)	37名
1月11日(金)	20名
1月18日(金)	30名
1月25日(金)	47名
2月17日(日)*	10名
3月10日(日)*	4名

註:*印は実施時間が各日午後4時~4時40分

V 入館状況

平成30(2018)年度実績

展覧会名	期 間	入館者数	1日平均 入館者数
チャバック兄弟と子どもの世界 ～20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト	平成30年4月7日(土)～ 5月27日(日) 45日間	8,492人	189人
ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展	平成30年6月12日(火)～ 7月29日(日) 42日間	15,183人	362人
ハ <small>ウタゴエ</small> 涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展	平成30年8月11日(土・祝)～ 9月24日(月・休) 39日間	4,393人	113人
林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面	平成30年10月6日(土)～ 11月25日(日) 44日間	6,657人	151人
終わりのむこうへ：廢墟の美術史	平成30年12月8日(土)～ 平成31年1月31日(木) 42日間	20,364人	485人
2019 松壽美術館公募展	平成31年2月10日(日)～ 2月24日(日) 13日間		
第37回渋谷区小中学生絵画展 併催サロン展 南 薫造展 山口草四朗展	小中学生絵画展 平成31年3月2日(土)～ 3月10日(日) 8日間 サロン展 前期 平成31年2月10日(日)～ 2月24日(日) 13日間 後期 平成31年3月2日(土)～ 3月17日(日) 14日間	4,357人	161人

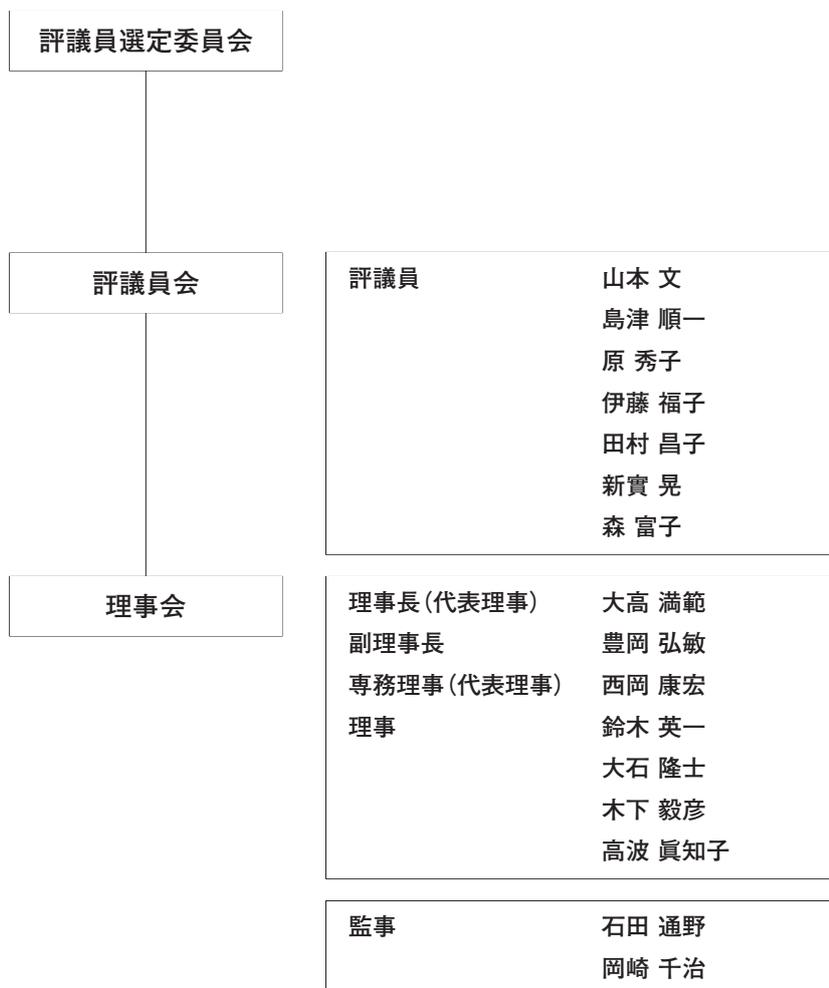
平成30(2018)年度実績

- 4月7日(土) 特別展「チャベック兄弟と子どもの世界」始まる
- 4月8日(日) 講演会「チャベック兄弟の作品について」
講師:パヴラ・ペチニコヴァー(本展監修者、元プラハ工芸美術大学教授、チャベック研究者)
- 5月14日(月) 理事会
- 5月27日(日) 特別展「チャベック兄弟と子どもの世界」終了
- 5月28日(月) 評議員会
- 6月12日(火) 特別展「ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展」始まる
- 6月17日(日) 講演会:「レースは、私の人生そのもの～Lace in My Life」
講師:ダイアン・クライス(本展監修者、アンティーク・レースコレクター、鑑定家)
- 6月30日(土) 講演会:「21世紀におけるアンティーク・レースの魅力」
講師:百々徹(本展監修者、大阪成蹊短期大学教授)
- 7月29日(日) 特別展「ダイアン・クライスコレクション アンティーク・レース展」終了
- 8月11日(土・祝) 特別展「^ハ涯^{ウタゴエ}テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」始まる
- 9月8日(土) 記念対談:「吉増剛造氏(詩人)×岡野弘彦氏(歌人)対談」
対談:吉増剛造(詩人)、岡野弘彦(歌人)
- 9月24日(月・休) 特別展「^ハ涯^{ウタゴエ}テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」終了
- 10月6日(土) 特別展「林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面」始まる
- 10月14日(日) 講演会:「大名家と能装束—文化的視点から—」
講師:長崎巖(本展監修者、共立女子大学博物館館長・家政学部教授)
- 10月21日(日) 講演会:「池田家伝来の能面」
講師:田邊三郎助(町田市立博物館館長)
- 11月25日(日) 特別展「林原美術館所蔵 大名家の能装束と能面」終了
- 12月8日(土) 特別展「終わりのむこうへ:廃墟の美術史」始まる
- 12月8日(土) 講演会:「廃墟の美学」
講師:谷川渥(美学者)
- 1月31日(木) 特別展「終わりのむこうへ:廃墟の美術史」終了
- 2月10日(日) 「2019 松濤美術館公募展」始まる サロン展「南 薫造展」「山口草四朗展」(前期)始まる
- 2月12日(火) 理事会
- 2月24日(日) 「2019 松濤美術館公募展」終了 サロン展「南 薫造展」「山口草四朗展」(前期)終了
- 2月28日(木) 評議員会
- 3月2日(土) 「第37回渋谷区小中学生絵画展」始まる サロン展「南 薫造展」「山口草四朗展」(後期)始まる
- 3月10日(日) 「第37回渋谷区小中学生絵画展」終了
- 3月17日(日) サロン展「南 薫造展」「山口草四朗展」(後期)終了

VII 組織

公益財団法人渋谷区美術振興財団

当館は、渋谷区の委託を受けて、公益財団法人渋谷区美術振興財団が運営している。企画展等に関わる諸事業は、機敏でしかも柔軟な経理活動が伴わなければ効果的に推進することが難しいため、行政の公会計制度から独立した財団の財務会計によって計画的な事業を推進することで区民文化の振興を目指しているのである。財団は区の出資により設立され、独自の組織と資産をもち、開館時間、休館日、入館料等の美術館の基本的利用条件の決定を除き、施設の維持管理、展観事業及び文化活動の全般にわたって渋谷区から委託されている。



※平成31年3月31日現在

VIII 利用案内

開館時間

〔特別展〕

午前10時～午後6時

* 金曜日は午後8時まで開館

* 最終入館は閉館30分前まで

〔公募展・渋谷区小中学生絵画展・サロン展〕

午前9時～午後5時

* 最終入館は閉館30分前まで

休館日

毎週月曜日（祝日は除く）

国民の祝日の翌日（土・日曜日は除く）

年末年始（12月29日～1月3日）

展示替期間

入館料

展覧会毎に異なります。

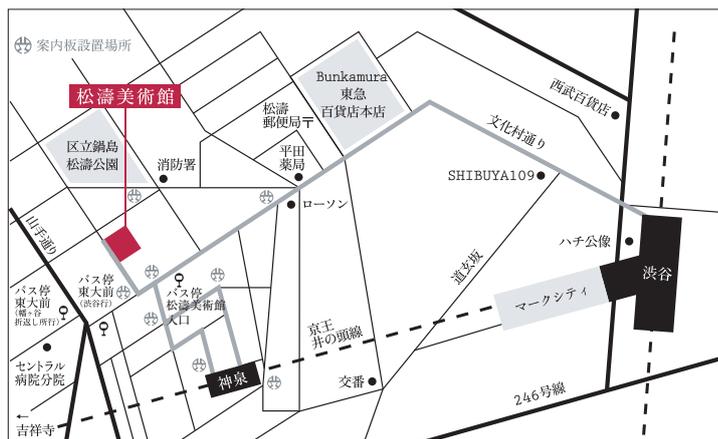
* 団体（10名以上）のお客様が同時に入館される場合、2割引となります。

* 障がい者とその付添の方各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。

* 金曜日に入館される渋谷区民の方は無料です。入館の際に住所のわかるものをご提示ください。

* 土・日曜日、休日、夏休み期間中、小中学生は無料です。

案内図



主要交通機関

京王井の頭線

ハチ公バス

JR山手線・東京メトロ・東急電鉄

* 駐車場はありません。

神泉駅下車 徒歩5分

渋谷駅より「丘を越えてルート（上原・富ヶ谷ルート）」にて
「松濤美術館入口」下車 徒歩5分

渋谷駅ハチ公口下車 徒歩15分

